

横芝光町保健事業実施計画
(第2期データヘルス計画)
中間評価

2020年度

横 芝 光 町

目 次

1 基本的事項

(1) 背景

(2) 計画期間

(3) 中間評価の趣旨

2 第2期データヘルス計画の中間評価

(1) 被保険者等全体の経年変化

(2) 健康課題の中間実績と課題

1 基本的事項

(1) 背景

我が国の急速な高齢化に伴い、高齢者に対する社会保障、中でも医療保障のあり方は極めて大きな問題である。

医療保険、介護保険の給付費用は、2025年には社会保障費の50%を超え、年金給付額を上回るといわれている。このような未来予測を少しでも回避する為には、国民の意識を変え、予防可能な疾患（生活習慣病の大半）を予防することにより医療費の抑制を図る必要がある。

さて、近年、特定健康診査の実施や診療報酬明細書等（以下「レセプト等」という。）の電子化の進展、国保データベース（KDB）システム（以下「KDB」という。）等の整備により、保険者が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤の整備が進んでいる。

こうした中、「日本最高戦略」（平成25年6月14日閣議決定）においても、「すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに市町村国保が同様の取り組みを行うことを推進する」とされ、保険者は、レセプト等を活用した保健事業を推進することとされた。

これまで、本町においては、レセプト等や統計資料用を活用することにより、特定健康診査等の実施計画の策定や見直し、その他の保健事業を実施してきたところである。

今後、本町は、さらなる被保険者の健康保持増進に努めるため、保有しているデータを活用しながら、被保険者をリスク別に分けてターゲットを絞った保健事業の展開やポピュレーションアプローチから重症化予防まで網羅的に保健事業を推進する。

厚生労働省においては、こうした背景を踏まえ、国民健康保険法（昭和33年法律第192号）第82条第4項の規定に基づき厚生労働大臣が定める国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針（平成16年厚生労働省告示第307号。以下「保健事業実施指針」という。）の一部を改正し、保険者は健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うものとした。

本町においては、保健事業実施指針に基づき、平成27年度に「保健事業実施計画（第1期データヘルス計画）」を策定し、平成28年度、29年度に生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進、糖尿病等の発症や重症化予防等の保健事業を実施した。

データヘルス計画の第2期は、2018年度から2023年度の6ヶ年となるが、

平成 29 年度に最新のレセプトデータ及び健診データを基に医療費分析を行い、第 1 期データヘルスを見直し、第 2 期データヘルス計画を策定し、保健事業を実施してきた。

(2) 計画期間

2018年度から2023年度とする。

(3) 中間評価の趣旨

第 2 期データヘルス計画では、本町の健康課題を掲げ、保健事業を実施してきた。中間年度に当たる 2020 年度においては、2018 年度から 2019 年度までに実施した事業の評価と 2021 年度から 2023 年度の目標の見直し等を行う。

2 第2期データヘルス計画の中間評価

(1) 被保険者等全体の経年変化

①人口・被保険者の状況

表1 年代別人口構成

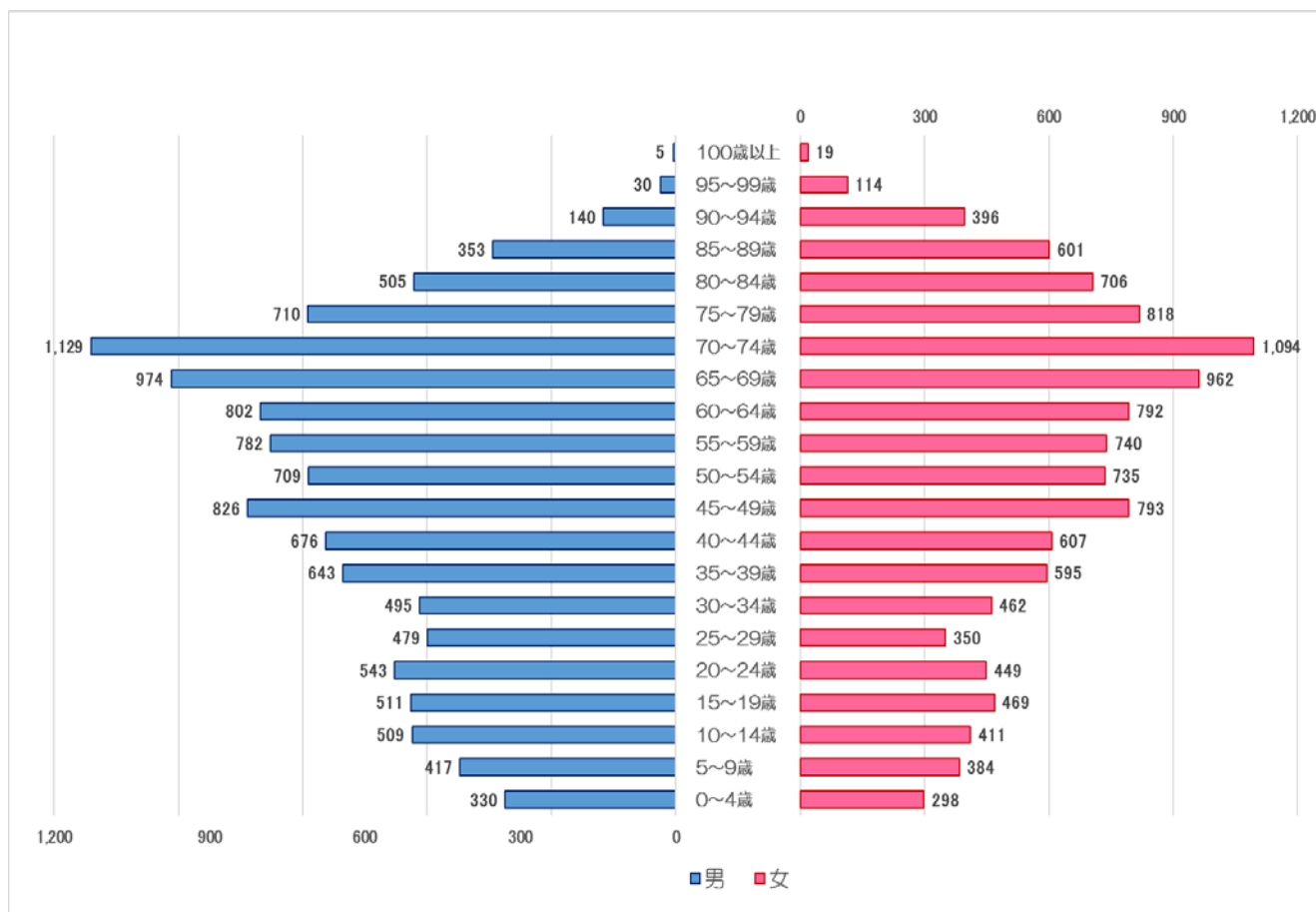
単位：人・%

年代	人口（人）		構成比率	
	平成30年1月4日現在	令和3年1月4日現在	平成30年1月4日現在	令和3年1月4日現在
40歳未満	7,956	7,345	32.9%	31.5%
40～64歳	7,926	7,462	32.7%	31.9%
65～74歳	4,118	4,159	17.0%	17.8%
75歳以上	4,217	4,397	17.4%	18.8%
計	24,217	23,363	100.0%	100.0%

資料：横芝光町年令別人口統計表

図3 横芝光町の人口ピラミッド

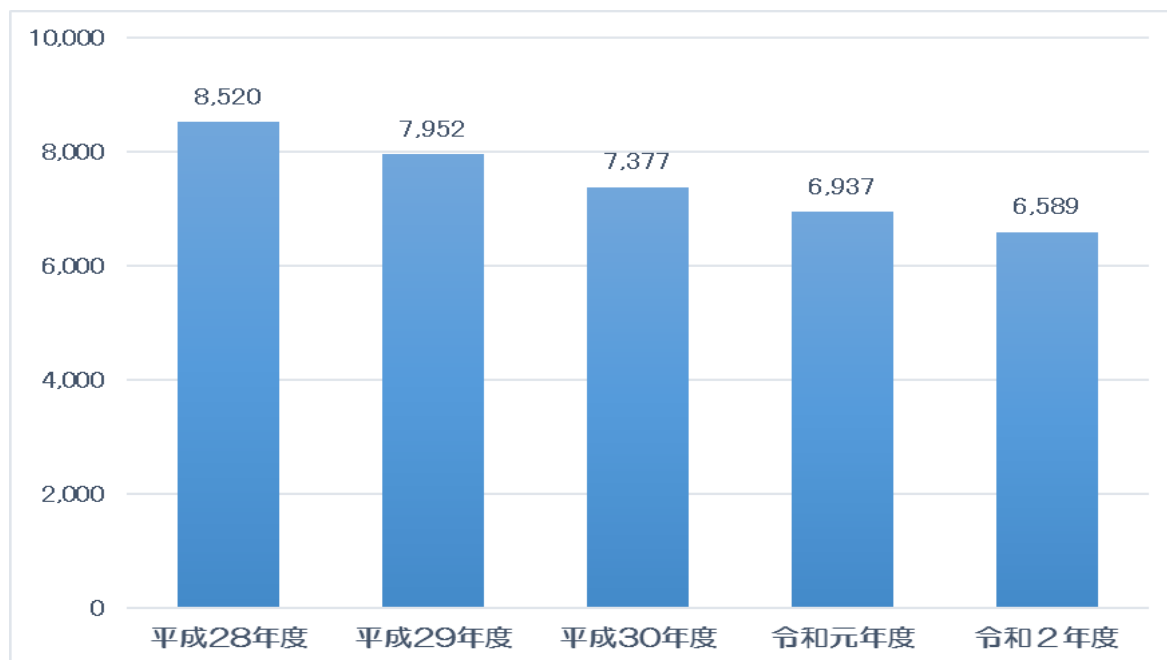
単位：人



資料：横芝光町年令別人口統計表（令和3年1月4日）

図4 国保被保険者数の推移

単位：人

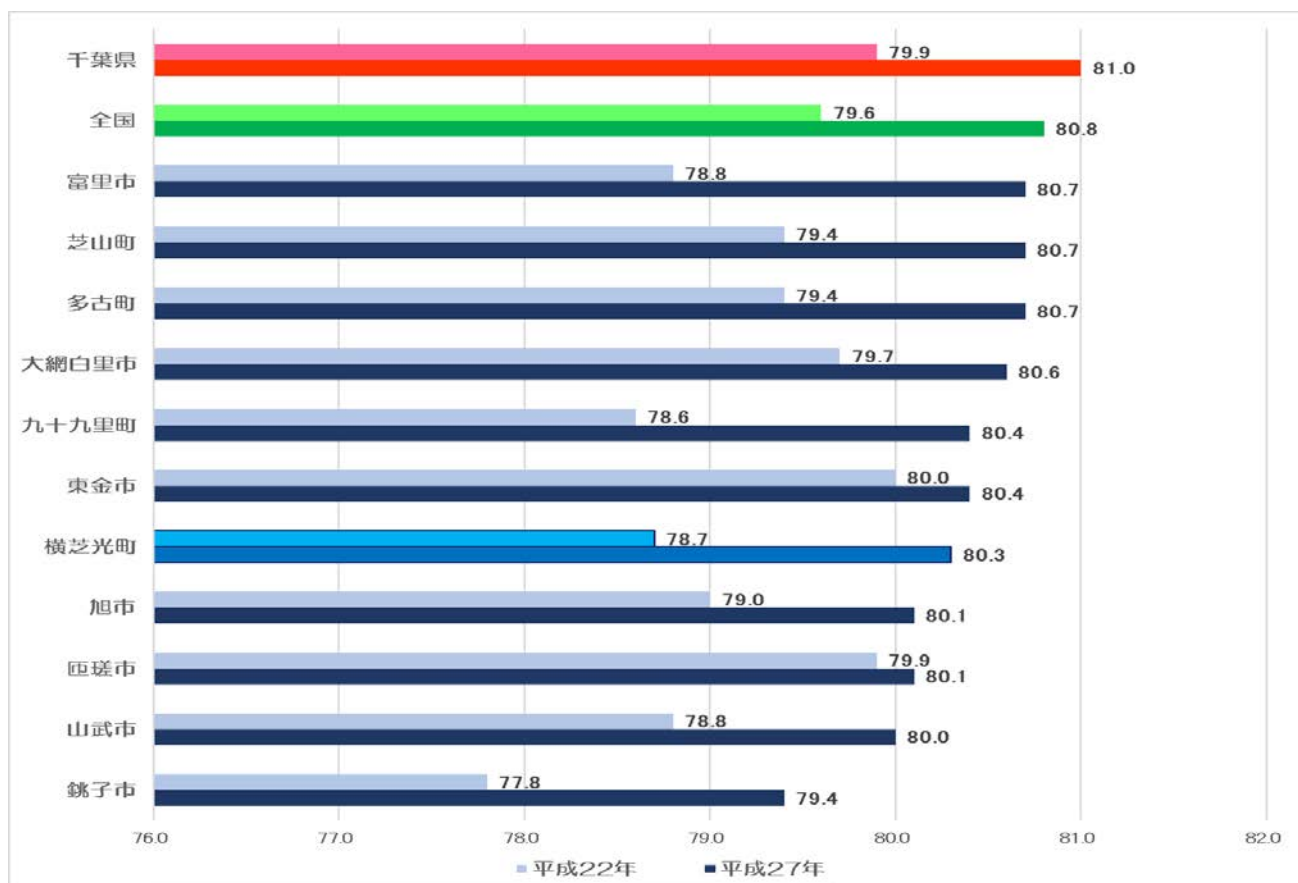


資料：国民健康保険毎月事業状況報告書（各年度4月1日）

②平均寿命と死亡の状況

図5 近隣市町村の平均寿命（男性）

単位：人

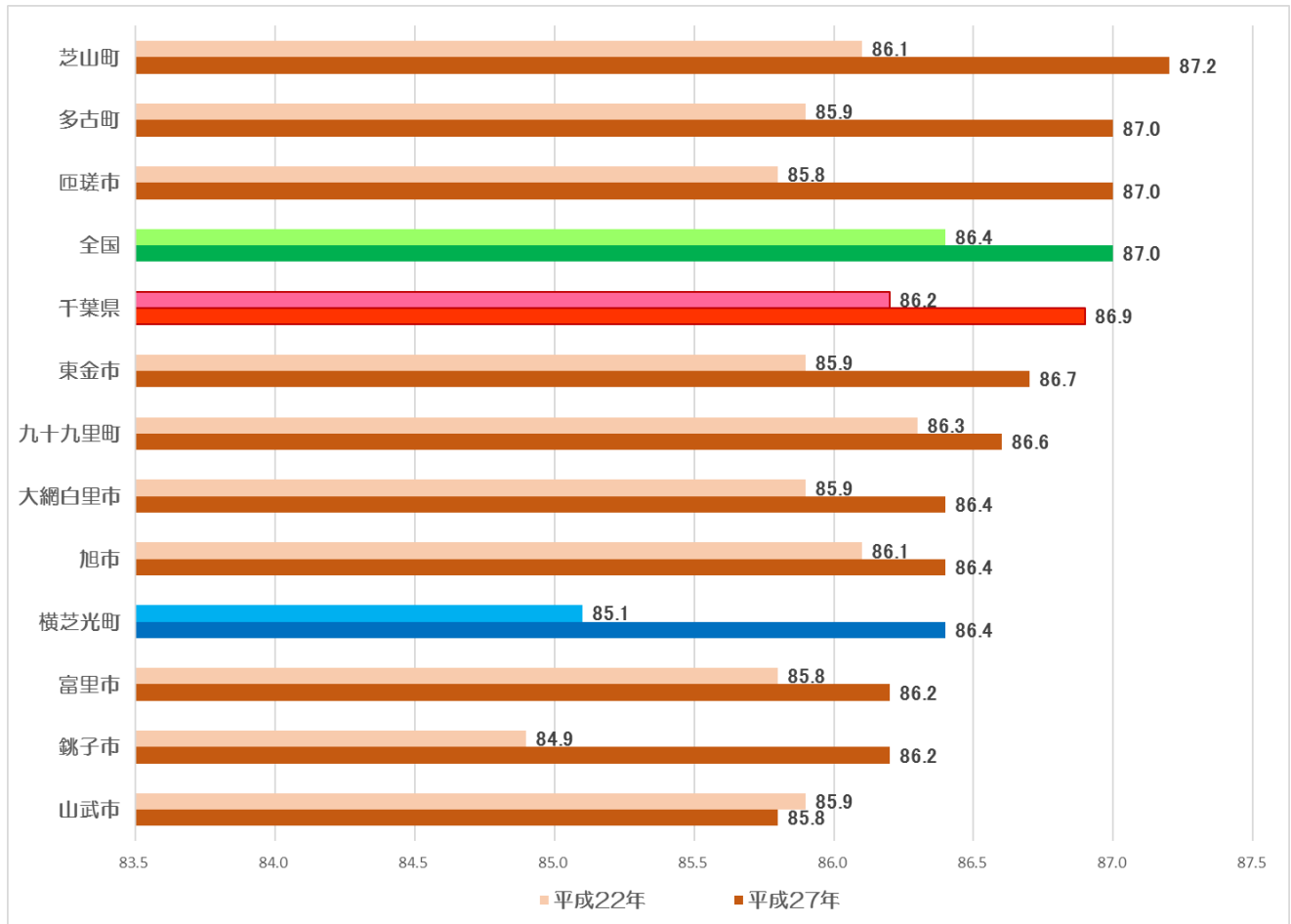


資料：市区町村別平均寿命全国・千葉県・市区町村別（千葉県）

※ その年に生まれた者が、その後何年生きられるかという期間。

図6 近隣市町村の平均寿命（女性）

単位：人



資料：市区町村別平均寿命全国・千葉県・市区町村別（千葉県）

※ その年に生まれた者が、その後何年生きられるかという期間。

表2 標準化死亡比

単位：%

	横芝光町		千葉県		国
	平成20～24年	平成25～29年	平成20～24年	平成25～29年	
標準化死亡比（男）	113.1	112.0	97.0	97.4	100.0
標準化死亡比（女）	115.2	110.8	101.6	100.9	100.0

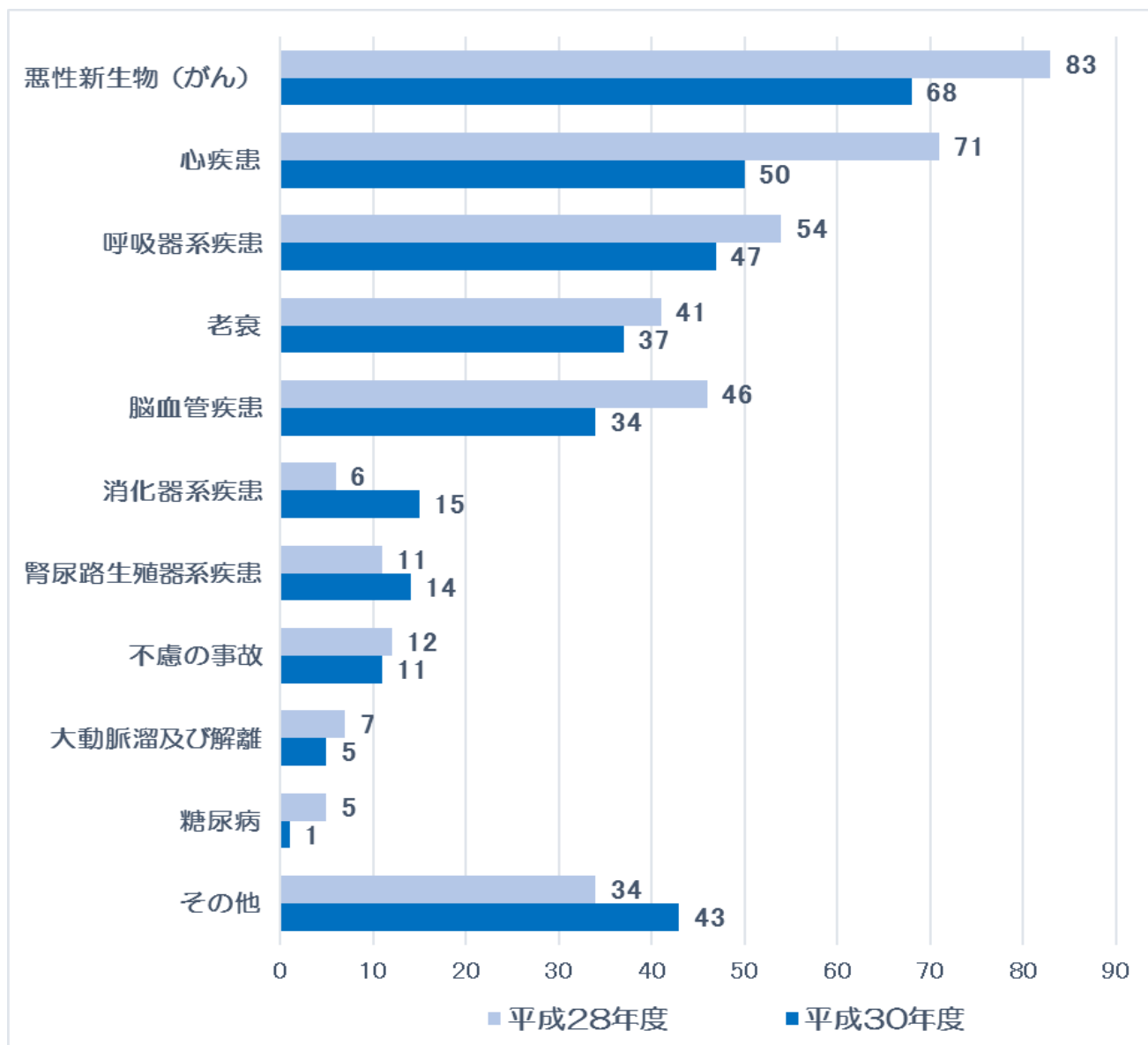
資料：人口動態保健所・市町村別統計（厚生労働省）

※ 標準化死亡比は、基準死亡率（人口10万対の死亡数）を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するものである。

我が国の平均を100としており、標準化死亡比が100以上の場合は我が国の平均より死亡率が高いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断される。標準化死亡比は、基準死亡率と対象地域の人口を用いれば簡単に計算できるので地域別の比較によく用いられる。

図7 横芝光町の死因

単位：人



資料：千葉県衛生統計年報第13-2表

③健診の状況

表3 特定健診受診率

単位：％

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
特定健診受診率（全体）	43.1%	42.4%	43.2%	45.9%
〃（男性）	41.1%	40.1%	40.5%	42.9%
〃（女性）	45.3%	44.9%	46.2%	49.2%

資料：法定報告より

表4 特定保健指導実施率

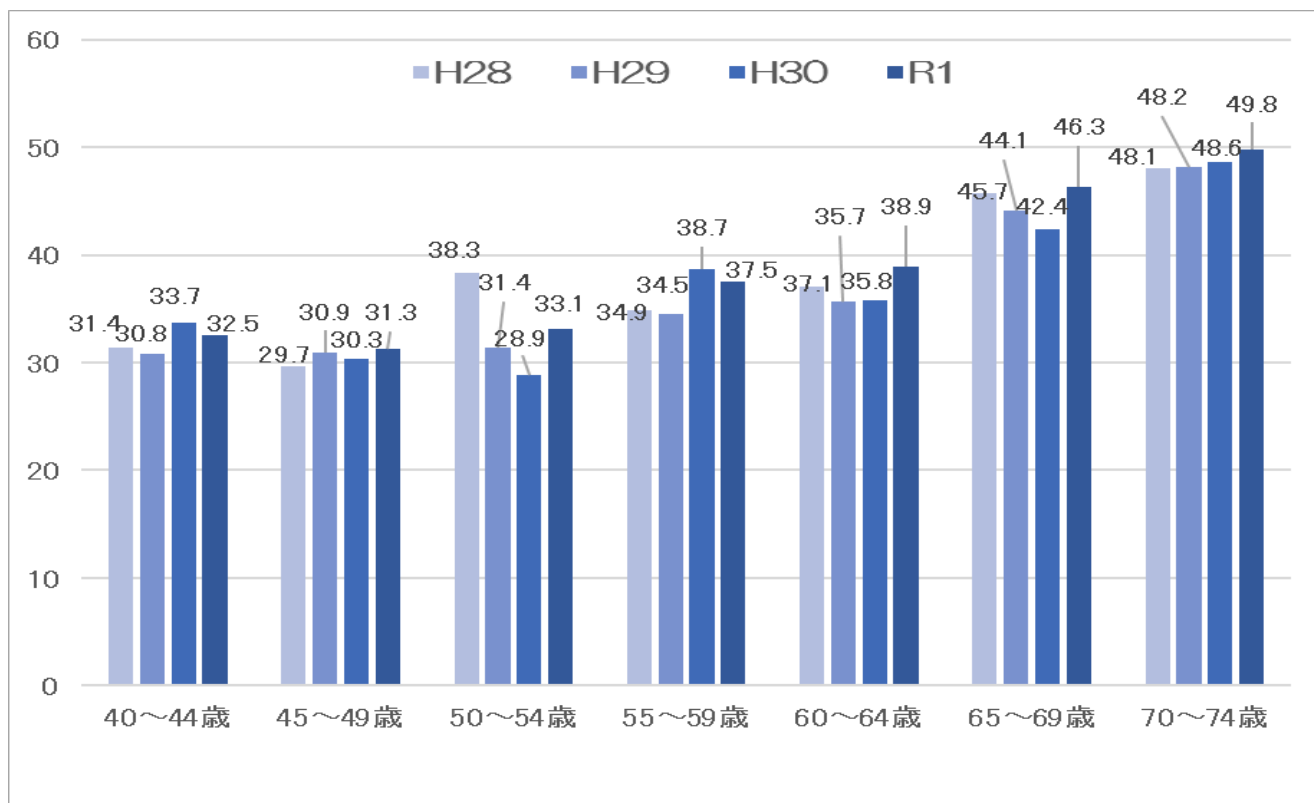
単位：％

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
特定保健指導実施率（全体）	28.5%	13.7%	25.9%	58.4%
〃（男性）	26.4%	11.8%	24.8%	53.8%
〃（女性）	35.3%	18.4%	28.9%	67.8%
<内訳>				
積極的支援実施率（全体）	23.7%	17.9%	36.4%	53.9%
〃（男性）	20.9%	14.6%	34.9%	52.5%
〃（女性）	38.1%	35.3%	41.7%	59.1%
動機づけ支援実施率（全体）	30.6%	12.0%	21.2%	60.2%
〃（男性）	29.2%	10.4%	19.6%	54.4%
〃（女性）	34.6%	15.1%	24.7%	69.9%

資料：法定報告より

図8 年代別・性別特定健診受診率の推移（男性）

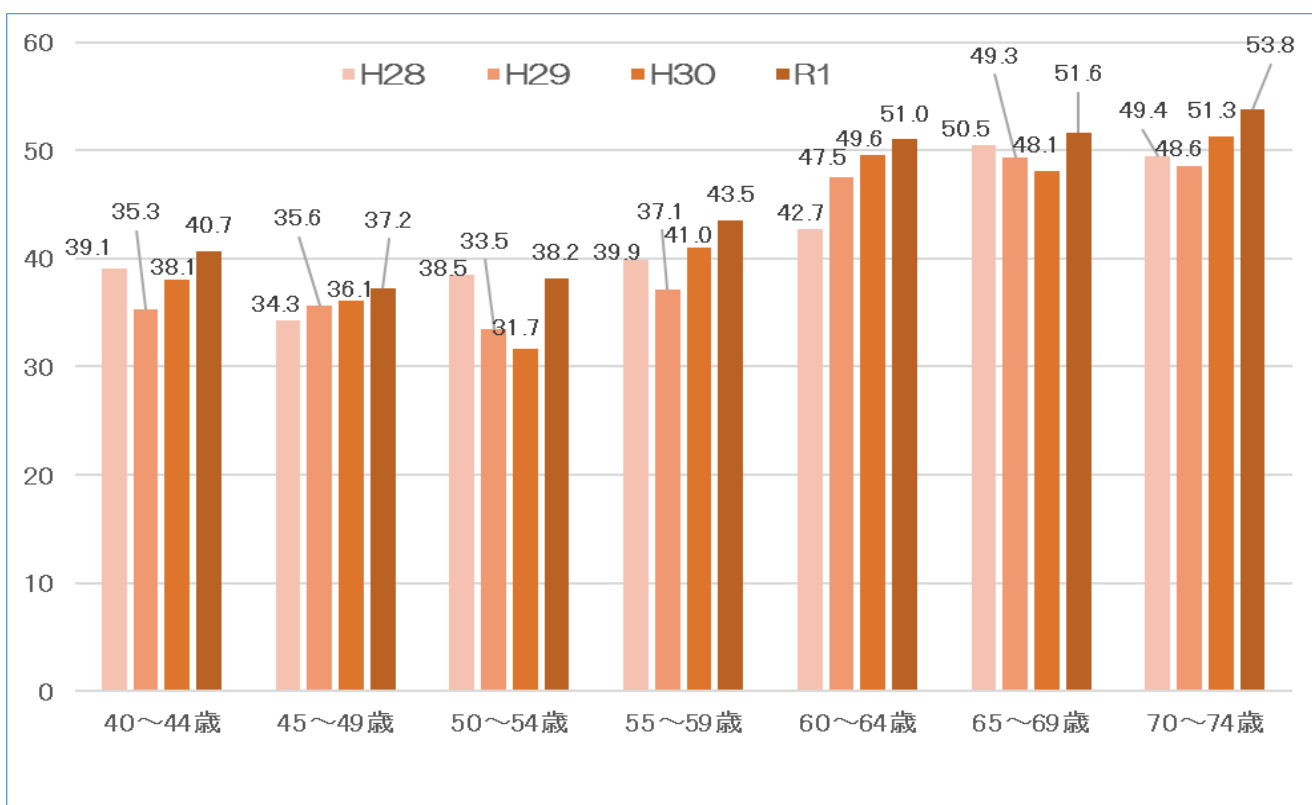
単位：％



資料：KDB健康・医療・介護データからみる地域の健康課題（平成28～令和元年度）

図9 年代別・性別特定健診受診率の推移（女性）

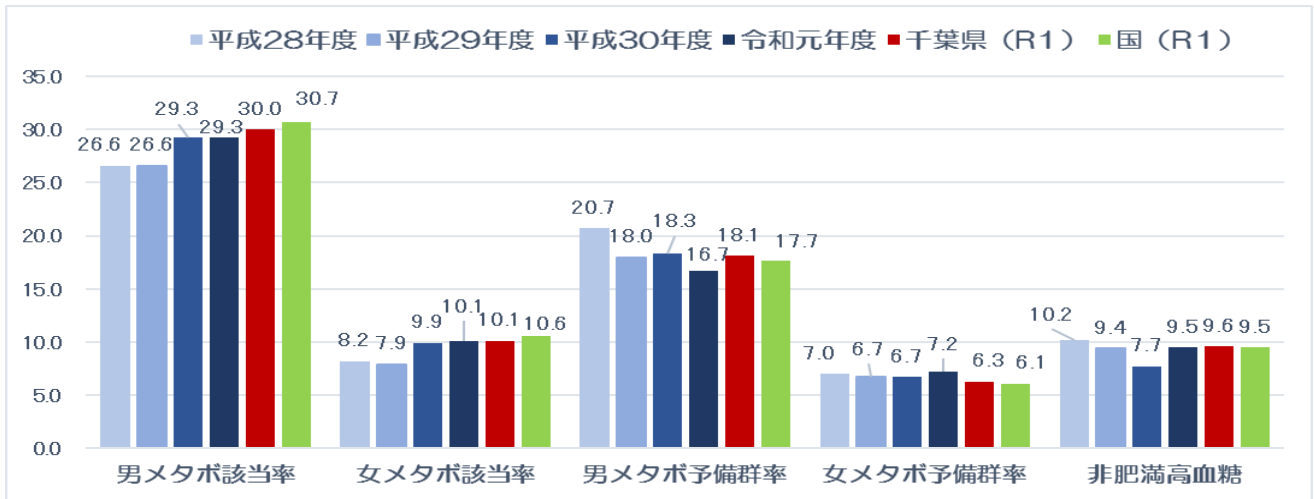
単位：％



資料：KDB健康・医療・介護データからみる地域の健康課題（平成28～令和元年度）

図10 メタボ該当・予備群、非肥満高血糖

単位：％



資料：KDB地域の全体像の把握（平成28～令和元年度）

表5 メタボ予備群・該当者の変化（男性）

単位：％

項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
メタボ	予備群	20.7%	18.0%	18.3%	16.7%
	該当者	26.6%	26.6%	29.3%	29.3%
メタボ該当予備群・	腹囲のみ	7.7%	7.4%	6.0%	6.3%
	血糖のみ	15.0%	1.1%	0.6%	6.0%
	血圧のみ	10.5%	9.8%	10.8%	9.4%
	脂質のみ	8.7%	7.0%	7.0%	6.6%
	血糖＋血圧	4.7%	5.2%	3.4%	5.4%
	血糖＋脂質	2.6%	2.2%	1.8%	2.3%
	血圧＋脂質	11.4%	11.7%	15.3%	13.2%
	血糖＋血圧＋脂質	7.9%	7.4%	8.7%	8.6%

資料：KDB厚生労働省様式6-8（平成28～令和元年度）

表6 メタボ予備群・該当者の変化（女性）

単位：％

項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
メタボ	予備群	7.0%	6.7%	6.7%	7.2%
	該当者	8.2%	7.9%	9.9%	10.1%
メタボ該当予備群・	腹囲のみ	2.6%	3.5%	2.8%	2.7%
	血糖のみ	0.4%	0.8%	0.0%	0.5%
	血圧のみ	4.4%	4.2%	4.5%	4.8%
	脂質のみ	2.2%	1.7%	2.2%	1.9%
	血糖＋血圧	1.2%	0.8%	1.3%	1.4%
	血糖＋脂質	0.8%	0.8%	0.8%	0.5%
	血圧＋脂質	3.4%	4.0%	5.5%	4.8%
	血糖＋血圧＋脂質	2.8%	2.4%	2.3%	3.4%

資料：KDB厚生労働省様式6-8（平成28～令和元年度）

表7 有所見者割合 千葉県と国との比較

単位：％

			BMI	中性脂肪	HbA1c	収縮期血圧	LDL
男性	平成28年度	横芝光町	37.1%	33.0%	56.6%	35.7%	43.6%
		千葉県	30.8%	28.0%	57.0%	49.5%	48.6%
		国	30.6%	28.2%	55.7%	49.4%	47.5%
	令和元年度	横芝光町	33.9%	34.0%	54.5%	40.4%	41.6%
		千葉県	32.9%	28.3%	59.7%	47.7%	48.6%
		国	32.5%	28.1%	57.6%	48.6%	47.9%
女性	平成28年度	横芝光町	18.5%	19.9%	53.3%	30.3%	56.3%
		千葉県	20.0%	15.7%	56.5%	43.3%	58.8%
		国	20.6%	16.2%	55.2%	42.7%	57.2%
	令和元年度	横芝光町	22.8%	21.0%	54.9%	34.9%	53.1%
		千葉県	21.3%	15.9%	58.4%	42.8%	59.5%
		国	21.4%	16.1%	56.9%	42.8%	57.3%

資料：KDB厚生労働省様式6-2～7（平成28年度、令和元年度）

図11 健診有所見者割合標準比 *国を100とする

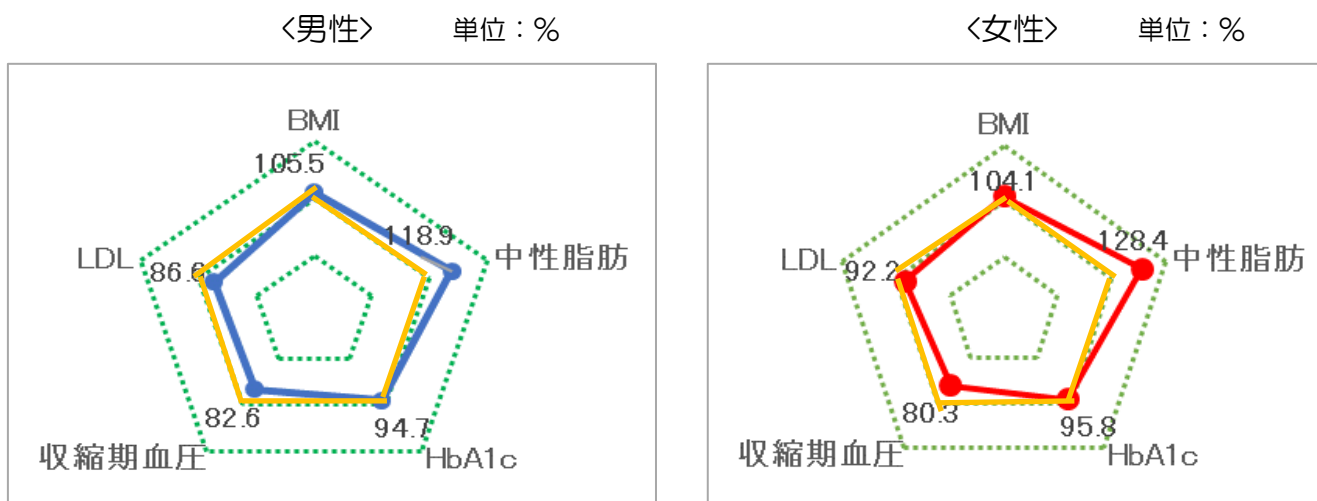
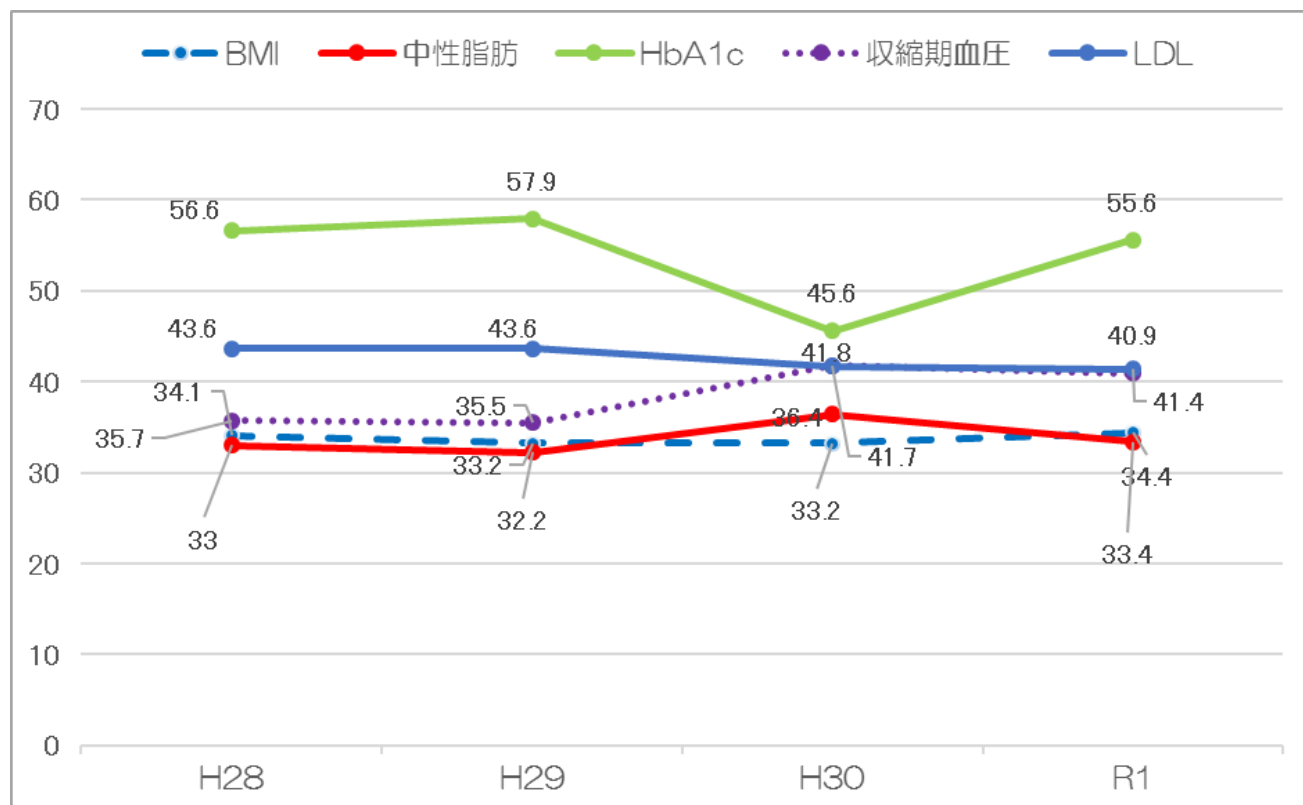


図12 健診有所見者割合の推移（男性）

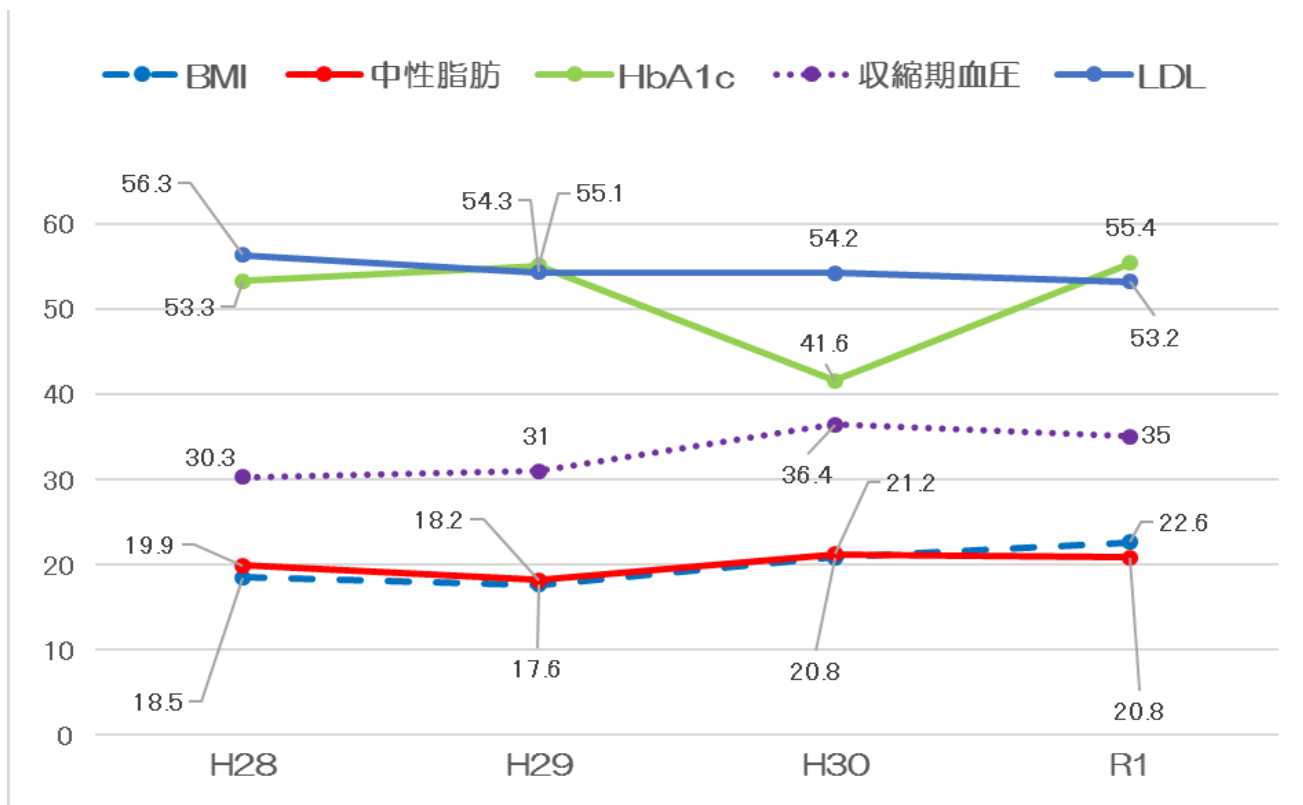
単位：％



資料：KDB厚生労働省様式6-2～7（平成28～令和元年度）

図13 健診有所見者割合の推移（女性）

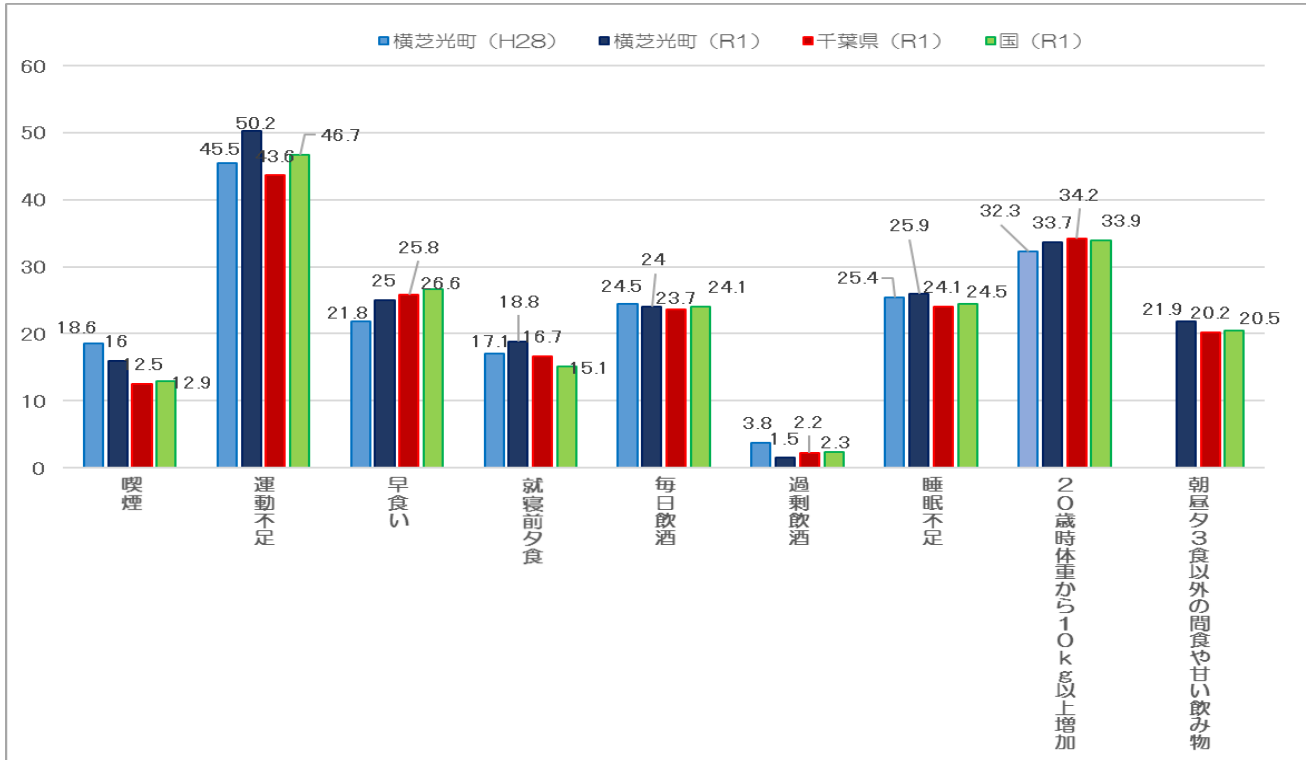
単位：％



資料：KDB厚生労働省様式6-2～7（平成28年～令和元年度）

図14 生活習慣（問診票調査）比較

単位：％



資料：KDB地域の全体像の把握（平成28年～令和元年度）

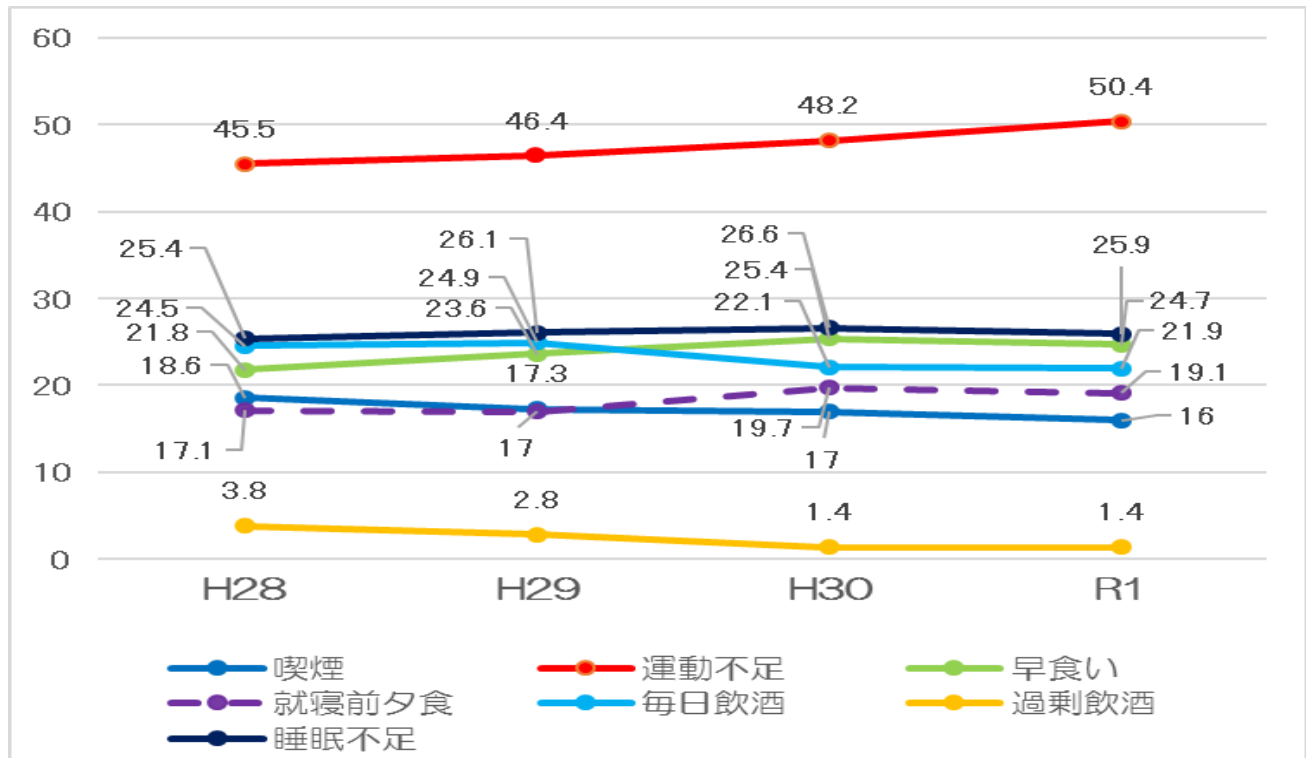
注：「運動不足」＝1日1時間以上の運動なし

「就寝前夕食」＝週3回以上

「過剰飲酒」＝3合以上

図15 生活習慣（問診票調査）結果の変化

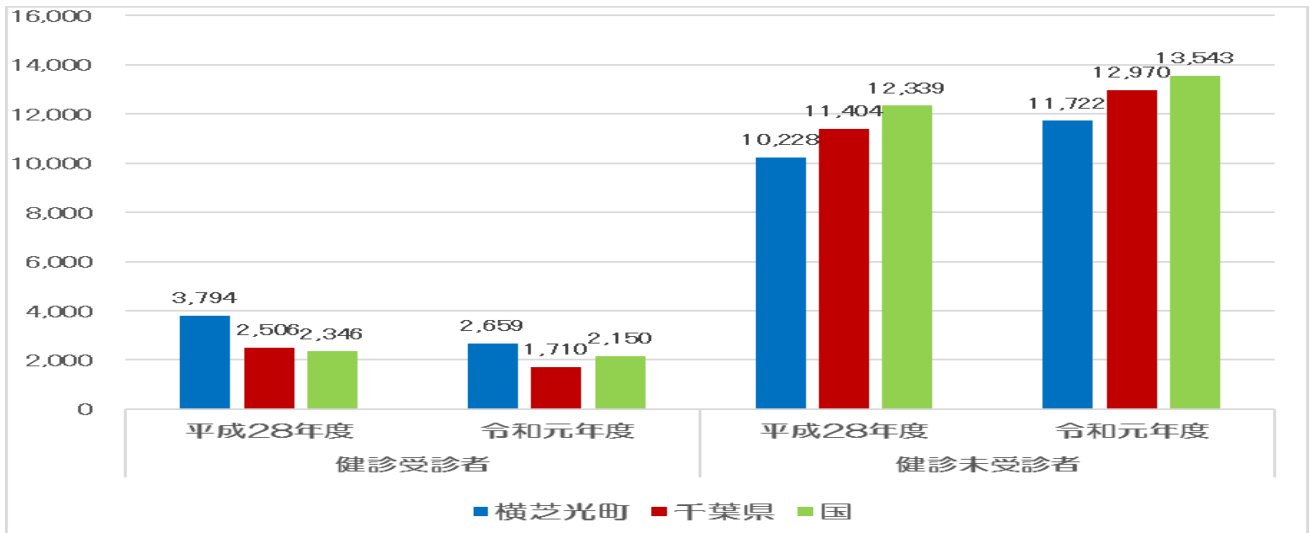
単位：％



資料：KDB地域の全体像の把握（平成28年～令和元年度）

図16 健診有無別医療費分析（生活習慣病1人当たりの医療費）

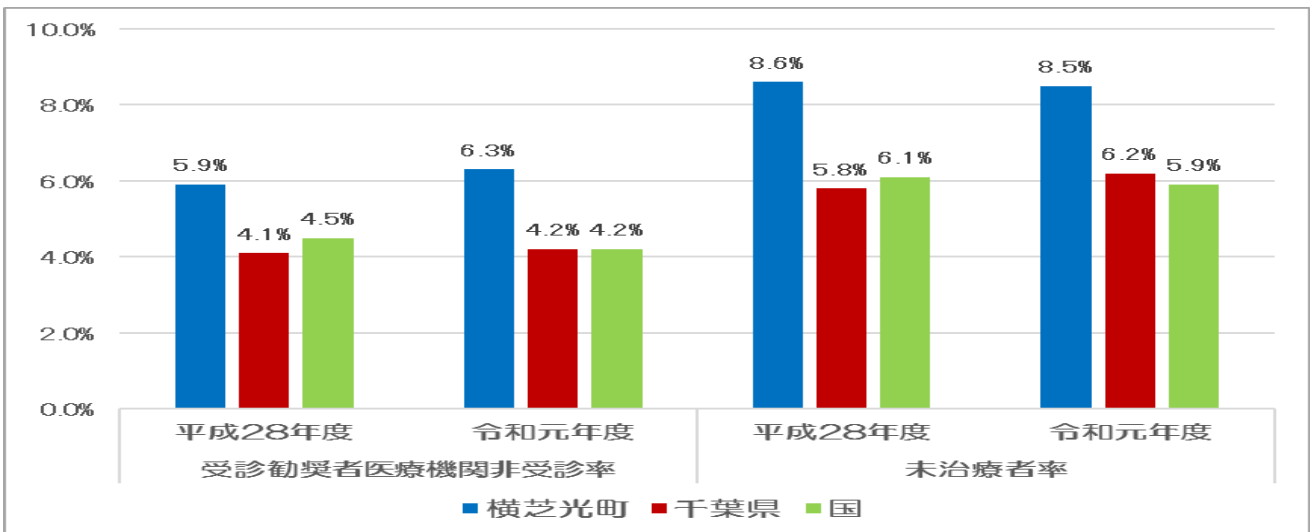
単位：円



資料：KDB健診・医療・介護データからみる地域の健康課題（平成28年度、令和元年度）

図17 受診勧奨者の医療機関非受診及び未治療者

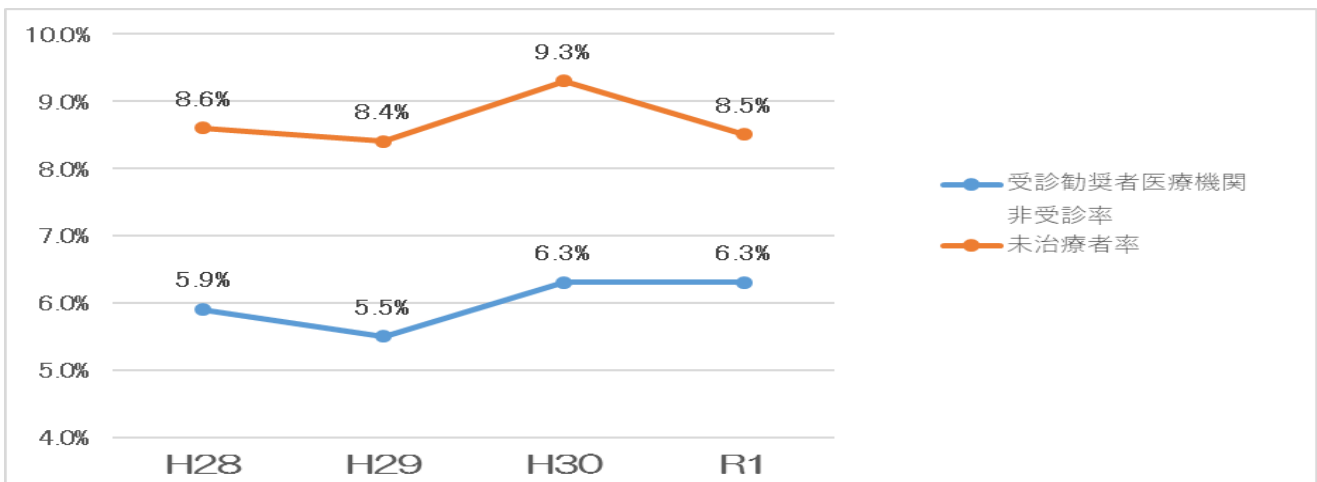
単位：%



資料：KDB地域の全体像の把握（平成28年度、令和元年度）

図18 受診勧奨者の医療機関非受診及び未治療者の推移

単位：%



資料：KDB地域の全体像の把握（平成28～令和元年度）

④医療費の状況

表8 医療費諸率

単位：円・人

	横芝光町		千葉県		国	
	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度
1人当たりの医療費（円）	18,524	15,425	20,861	24,273	24,245	27,475
受診率（1000人当たり）	626	659	654	662	686	720

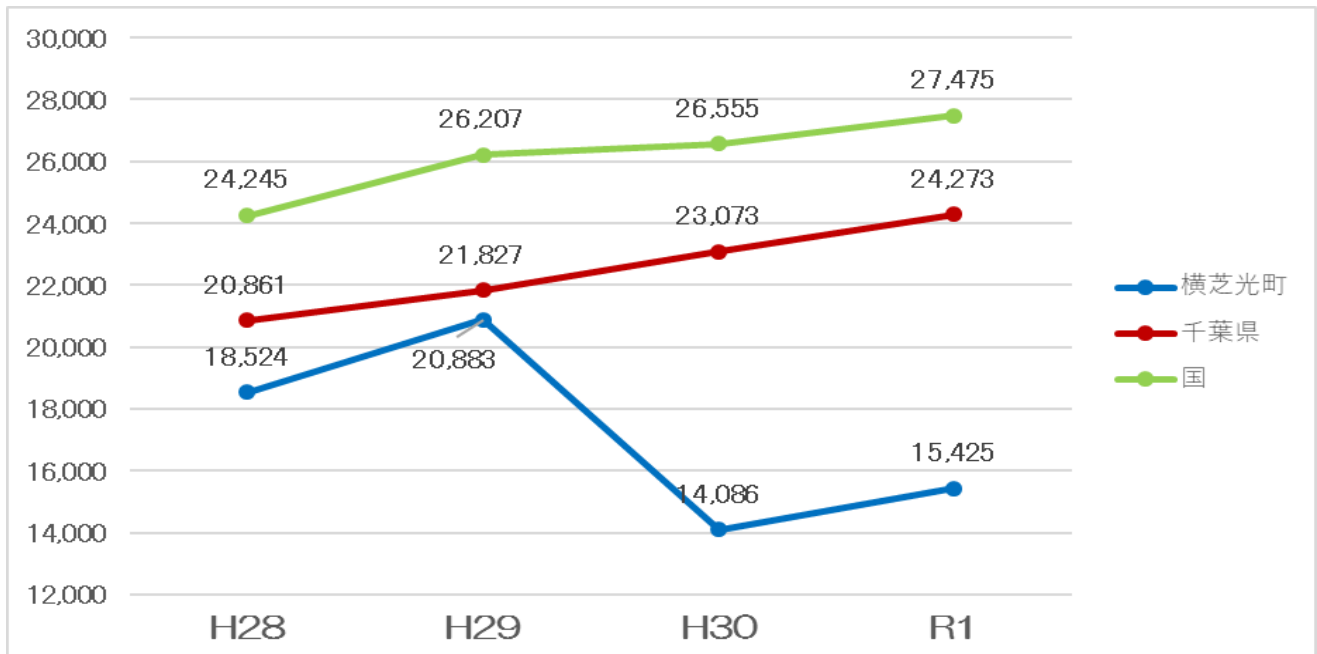
資料：KDB健診・医療・介護データからみる地域の健康課題（平成28年度、令和元年度）5月診療分

注：横芝光町及び千葉県のデータ

～千葉県健康福祉部保健指導課 国民健康保険病類別疾病統計表（各年度5月診療分）

図19 1人当たり医療費の推移

単位：円



資料：千葉県健康福祉部保健指導課 国民健康保険病類別疾病統計表（各年度5月診療分）

注：国のデータ～KDB健診・医療・介護データからみる地域の健康課題（平成28年～令和元年度）5月診療分

表9 1000人当たり外来患者数・入院患者数と費用の割合

単位：人・%

	横芝光町		千葉県		国	
	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度
外来患者数(1000人当たり)	611.2	641.2	637.9	645.8	668.1	700.5
外来費用の割合(%)	62.9	60.5	62.4	61.5	60.1	59.2
入院患者数(1000人当たり)	14.8	17.3	15.9	16.6	18.2	19.8
入院費用の割合(%)	37.1	39.5	37.6	38.5	39.9	40.8

資料：KDB地域の全体像の把握（平成28年度・令和元年度）

表10 大分類別医療費分析による医療費割合の推移（入院）

単位：％

順位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
1位	新生物	21.2%	新生物	19.1%	循環器	19.4%	新生物	22.2%
2位	循環器	20.7%	循環器	18.5%	新生物	18.4%	循環器	18.2%
3位	精神	14.2%	精神	15.5%	精神	10.0%	精神	12.2%
4位	筋骨格	7.5%	筋骨格	6.8%	消化器	8.8%	筋骨格	8.7%
5位	尿路性器	6.4%	消化器	6.3%	筋骨格	8.6%	損傷中毒	8.4%
6位	損傷中毒	5.5%	損傷中毒	6.2%	尿路性器	7.2%	消化器	7.4%
7位	消化器	5.4%	尿路性器	5.5%	損傷中毒	7.2%	神経	6.1%
8位	その他	19.1%	呼吸器	5.2%	神経	5.3%	尿路性器	5.3%
9位			その他	16.9%	その他	15.0%	その他	11.6%

資料：KDB医療分析（2）大、中、細小分類（平成28年～令和元年度）

表11 大分類別医療費分析による医療費割合の推移（外来）

単位：％

順位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
1位	内分泌	16.6%	内分泌	16.9%	内分泌	16.7%	内分泌	17.1%
2位	循環器	13.9%	循環器	14.4%	循環器	13.2%	循環器	12.8%
3位	新生物	11.3%	尿路性器	11.4%	尿路性器	12.1%	尿路性器	11.8%
4位	尿路性器	11.1%	筋骨格	10.1%	新生物	10.1%	新生物	11.2%
5位	筋骨格	8.9%	新生物	9.7%	筋骨格	9.6%	筋骨格	8.9%
6位	消化器	7.0%	消化器	7.1%	消化器	6.9%	消化器	7.4%
7位	呼吸器	6.0%	呼吸器	5.6%	呼吸器	5.7%	呼吸器	5.5%
8位	その他	25.2%	その他	24.7%	神経	5.5%	神経	5.4%
9位					その他	20.2%	その他	19.8%

資料：KDB医療分析（2）大、中、細小分類（平成28年～令和元年度）

注） 主な大分類医療費分析の内訳

新生物～大腸がん、肺がん、乳がん、胃がん、すい臓がん、前立腺がんほか

循環器～脳梗塞、虚血性心疾患、高血圧性疾患ほか

精神～統合失調症、気分障害（躁うつ病含）ほか

内分泌～糖尿病、脂質異常症、甲状腺障害ほか

尿路性器～腎不全、前立腺肥大ほか

表12 疾病別医療費（最大医療費資源傷病名による・調剤報酬を含む）上位15位

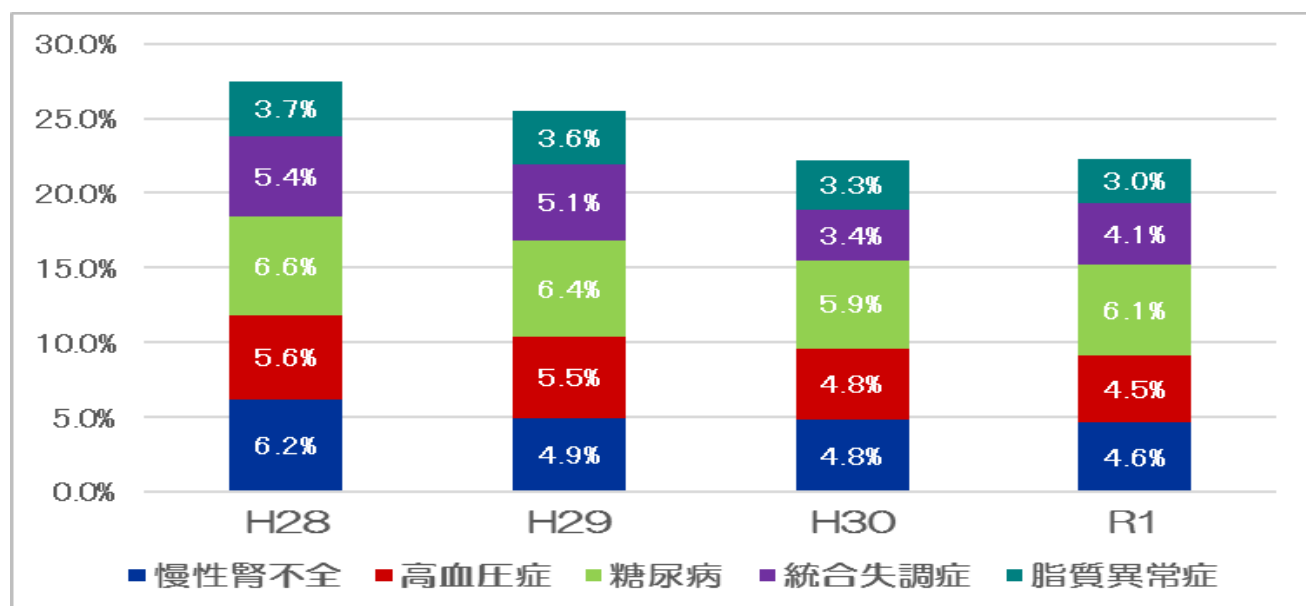
単位：円

順位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
1位	がん	326,644,650	がん	277,941,550	がん	273,376,610	がん	320,980,500
2位	筋骨格	181,959,210	精神	187,812,150	筋骨格	189,183,850	筋骨格	182,509,640
3位	精神	179,058,110	筋骨格	185,831,970	精神	137,901,380	精神	155,545,400
4位	糖尿病	143,733,320	糖尿病	133,218,420	糖尿病	134,711,970	糖尿病	140,368,330
5位	慢性腎不全 (透有)	135,037,510	高血圧症	114,712,640	慢性腎不全 (透有)	98,893,270	慢性腎不全 (透有)	94,878,540
6位	高血圧症	135,037,510	慢性腎不全 (透有)	103,785,750	高血圧症	97,560,110	高血圧症	92,593,190
7位	脂質異常症	122,786,430	脂質異常症	75,498,810	脂質異常症	67,871,530	脂質異常症	62,474,560
8位	脳梗塞	42,002,170	脳梗塞	34,493,520	狭心症	29,936,480	脳梗塞	29,562,220
9位	狭心症	37,283,070	狭心症	23,134,370	脳梗塞	27,734,580	脳出血	22,697,400
10位	脳出血	22,335,820	脳出血	19,494,150	心筋梗塞	25,109,080	狭心症	18,959,950
11位	心筋梗塞	9,485,700	心筋梗塞	7,421,960	脳出血	19,891,800	心筋梗塞	9,618,740
12位	慢性腎不全 (透無)	2,817,910	慢性腎不全 (透無)	5,370,280	慢性腎不全 (透無)	3,912,970	慢性腎不全 (透無)	5,666,520
13位	動脈硬化症	1,970,730	動脈硬化症	3,942,760	脂肪肝	1,585,250	動脈硬化症	2,749,220
14位	脂肪肝	1,908,910	脂肪肝	1,872,180	動脈硬化症	1,141,130	脂肪肝	1,386,320
15位	高尿酸血症	1,272,140	高尿酸血症	1,709,500	高尿酸血症	1,051,470	高尿酸血症	1,337,550

資料：KDB地域の全体像の把握（平成28年～令和元年度）

図20 主要疾病医療費割合

単位：円



資料：KDB医療分析（2）大、中、細小分類（平成28年～令和元年度）

表13 糖尿病の患者数の推移（男性）

単位：人・％

男性	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合
20歳代以下	2	0.3%	3	0.4%	0	0.0%	1	0.2%
30歳代	5	1.4%	5	1.6%	4	1.4%	4	1.5%
40歳代	16	3.3%	23	4.9%	20	4.7%	20	5.0%
50歳代	68	11.2%	63	11.6%	56	11.1%	39	9.0%
60～64歳	84	13.8%	72	13.3%	73	15.3%	73	16.6%
65～69歳	199	20.5%	195	21.1%	169	19.3%	154	20.6%
70～74歳	155	23.5%	165	23.5%	183	24.4%	187	22.9%
計	529	11.9%	526	12.6%	505	13.1%	478	13.1%

資料：厚生労働省様式 様式3-2（平成28年～令和元年度）

表14 糖尿病の患者数の推移（女性）

単位：人・％

女性	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合
20歳代以下	1	0.1%	2	0.3%	2	0.4%	1	0.2%
30歳代	2	0.7%	2	0.8%	0	0.0%	5	2.4%
40歳代	18	4.2%	13	3.3%	12	3.2%	7	2.1%
50歳代	41	7.6%	45	9.7%	32	7.4%	33	8.1%
60～64歳	63	10.9%	57	10.9%	53	11.1%	52	11.5%
65～69歳	135	14.9%	133	15.7%	138	17.1%	116	15.5%
70～74歳	106	15.8%	127	18.1%	129	17.9%	138	18.8%
計	366	8.9%	379	9.9%	366	10.2%	352	10.3%

資料：厚生労働省様式 様式3-2（平成28年～令和元年度）

表15 高血圧症の患者数の推移（男性）

単位：人・％

男性	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合
20歳代以下	1	0.1%	4	0.6%	1	0.2%	2	0.4%
30歳代	6	1.7%	3	1.0%	3	1.1%	4	1.5%
40歳代	38	7.9%	57	12.2%	42	9.8%	36	8.9%
50歳代	121	20.0%	106	19.5%	104	20.6%	78	18.0%
60～64歳	180	29.7%	162	29.8%	144	30.3%	140	31.7%
65～69歳	332	34.1%	329	35.5%	303	35.5%	257	34.5%
70～74歳	262	39.7%	269	38.3%	298	39.8%	332	40.7%
計	940	21.2%	930	22.3%	895	23.2%	849	23.3%

資料：厚生労働省様式 様式3-3（平成28年～令和元年度）

表16 高血圧症の患者数の推移（女性）

単位：人・％

女性	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合
20歳代以下	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%	1	0.2%
30歳代	5	1.8%	1	0.4%	1	0.5%	6	2.8%
40歳代	28	6.6%	21	5.3%	23	6.1%	17	5.2%
50歳代	90	16.8%	85	18.4%	68	15.6%	64	15.7%
60～64歳	154	26.6%	142	27.2%	126	26.4%	109	24.0%
65～69歳	279	30.8%	265	31.2%	276	34.2%	241	32.3%
70～74歳	251	37.5%	251	35.8%	258	35.9%	272	37.0%
計	808	19.6%	766	19.9%	752	20.9%	710	20.9%

資料：厚生労働省様式 様式3-3（平成28年～令和元年度）

表17 虚血性心疾患の患者数の推移（男性）

単位：人・％

男性	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合
20歳代以下	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
30歳代	3	0.9%	1	0.3%	1	0.4%	0	0.0%
40歳代	4	0.8%	8	1.7%	8	1.9%	7	1.7%
50歳代	26	4.3%	22	4.1%	18	3.6%	14	3.2%
60～64歳	28	4.6%	17	3.1%	23	4.8%	21	4.8%
65～69歳	71	7.3%	59	6.4%	53	6.2%	45	6.0%
70～74歳	50	7.6%	61	8.7%	65	8.7%	70	8.6%
計	182	4.1%	169	4.0%	168	4.3%	157	4.3%

資料：厚生労働省様式 様式3-5（平成28年～令和元年度）

表18 虚血性心疾患の患者数の推移（女性）

単位：人・％

女性	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
40歳代	2	0.5%	3	0.8%	5	1.3%	3	0.9%
50歳代	8	1.5%	3	0.6%	4	0.9%	5	1.2%
60～64歳	12	2.1%	13	2.5%	10	2.1%	6	1.3%
65～69歳	27	3.0%	21	2.5%	24	3.0%	24	3.2%
70～74歳	31	4.6%	33	4.7%	31	4.3%	34	4.6%
計	80	1.9%	73	1.9%	74	2.1%	72	2.1%

資料：厚生労働省様式 様式3-5（平成28年～令和元年度）

表19 脳血管疾患の患者数の推移（男性）

単位：人・%

男性	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合
20歳代以下	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.4%
40歳代	3	0.6%	4	0.9%	3	0.7%	4	1.0%
50歳代	12	2.0%	12	2.2%	10	2.0%	13	3.0%
60～64歳	22	3.6%	20	3.7%	21	4.4%	20	4.5%
65～69歳	62	6.4%	61	6.6%	53	6.2%	36	4.8%
70～74歳	54	8.2%	54	7.7%	58	7.7%	68	8.3%
計	153	3.4%	152	3.6%	146	3.8%	142	3.9%

資料：厚生労働省様式 様式3-6（平成28年～令和元年度）

表20 脳血管疾患の患者数の推移（女性）

単位：人・%

女性	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合	患者数（人）	割合
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
40歳代	2	0.5%	3	0.8%	3	0.8%	4	1.2%
50歳代	12	2.2%	10	2.2%	7	1.6%	9	2.2%
60～64歳	8	1.4%	2	0.4%	6	1.3%	6	1.3%
65～69歳	24	2.6%	23	2.7%	25	3.1%	21	2.8%
70～74歳	40	6.0%	35	5.0%	29	4.0%	30	4.1%
計	86	2.1%	73	1.9%	70	1.9%	70	2.1%

資料：厚生労働省様式 様式3-6（平成28年～令和元年度）

表21 新規人工透析患者数の推移（男性）

単位：人

男性	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	患者数	うち社保から国保	患者数	うち社保から国保	患者数	うち社保から国保	患者数	うち社保から国保
20歳代以下								
30歳代					1			
40歳代								
50歳代	1	1	1		2		1	
60～64歳			1	1	1		1	
65～69歳	2		3	1			2	1
70～74歳			1		3		2	
計	3	1	6	2	7	0	6	1

横芝光町住民課調べ：KDBより（平成28年～令和元年度）

表22 新規人工透析患者数の推移（女性）

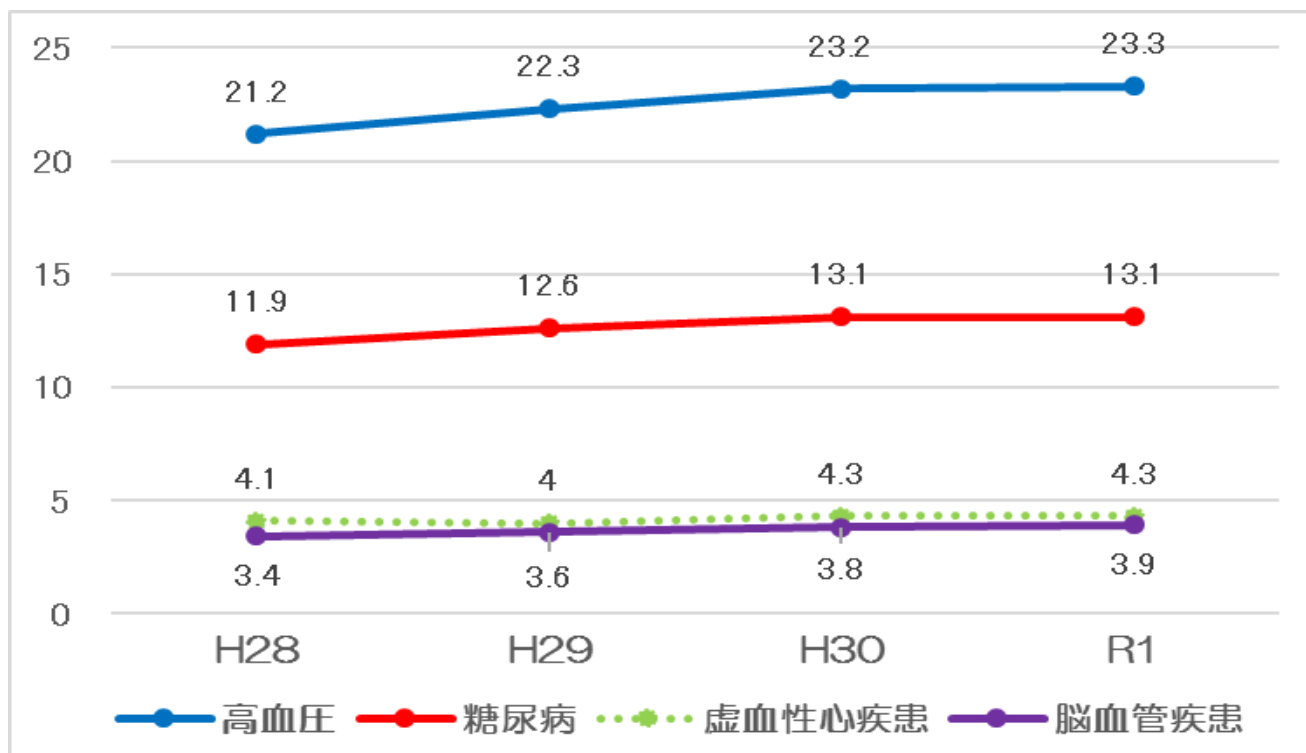
単位：人

女性	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	患者数	うち社保から国保	患者数	うち社保から国保	患者数	うち社保から国保	患者数	うち社保から国保
20歳代以下								
30歳代								
40歳代			2					
50歳代								
60～64歳								
65～69歳					1			
70～74歳			1				2	
計	0	0	3	0	1	0	2	0

横芝光町住民課調べ：KDBより（平成28年～令和元年度）

図21 主要生活習慣病患者割合の推移（男性）

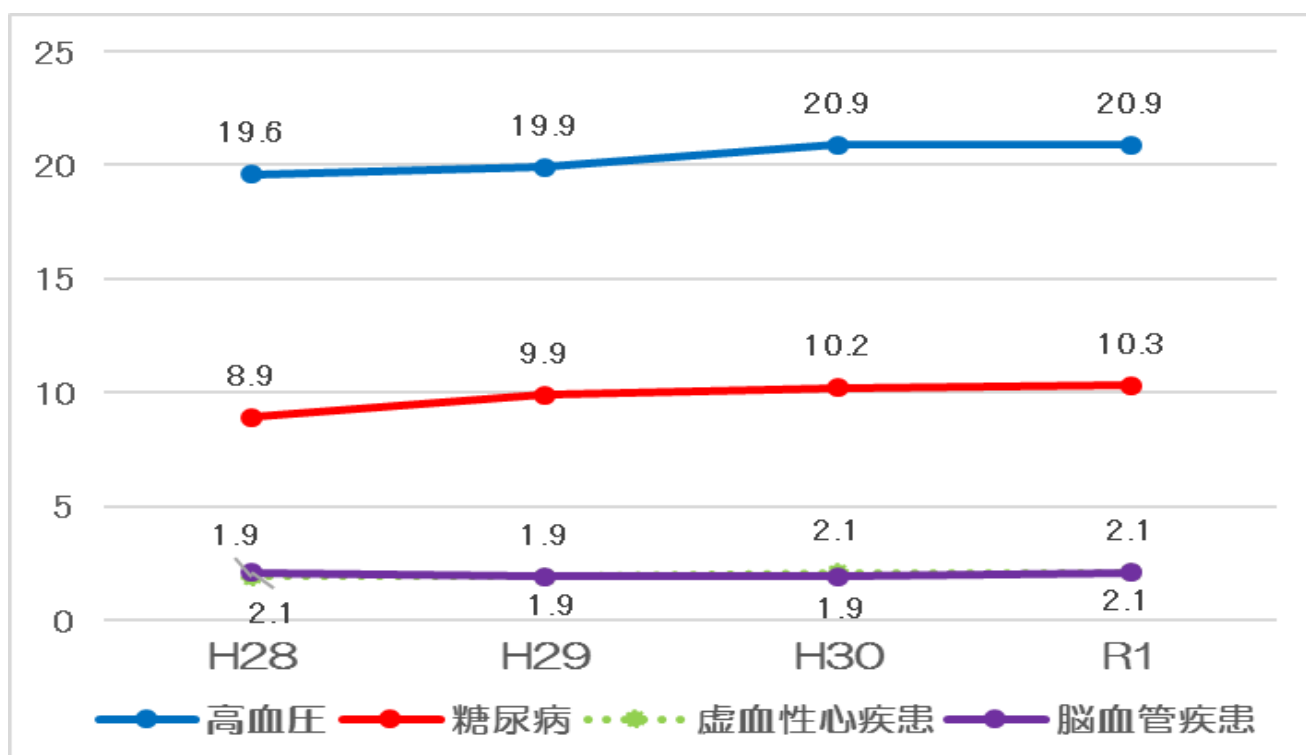
単位：％



資料：厚生労働省様式 様式3（平成28年～令和元年度）

図22 主要生活習慣病患者割合の推移（女性）

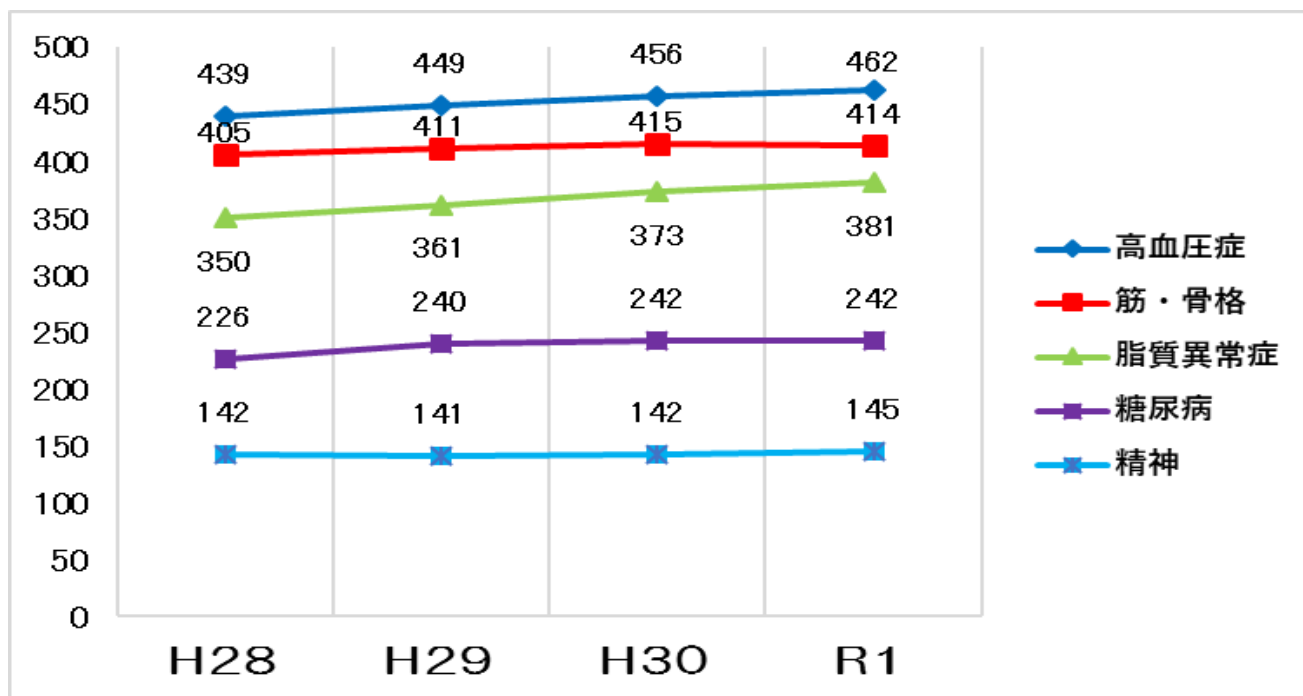
単位：％



資料：厚生労働省様式 様式3（平成28年～令和元年度）

図23 1000人当たり主要生活習慣病患者数（全体）

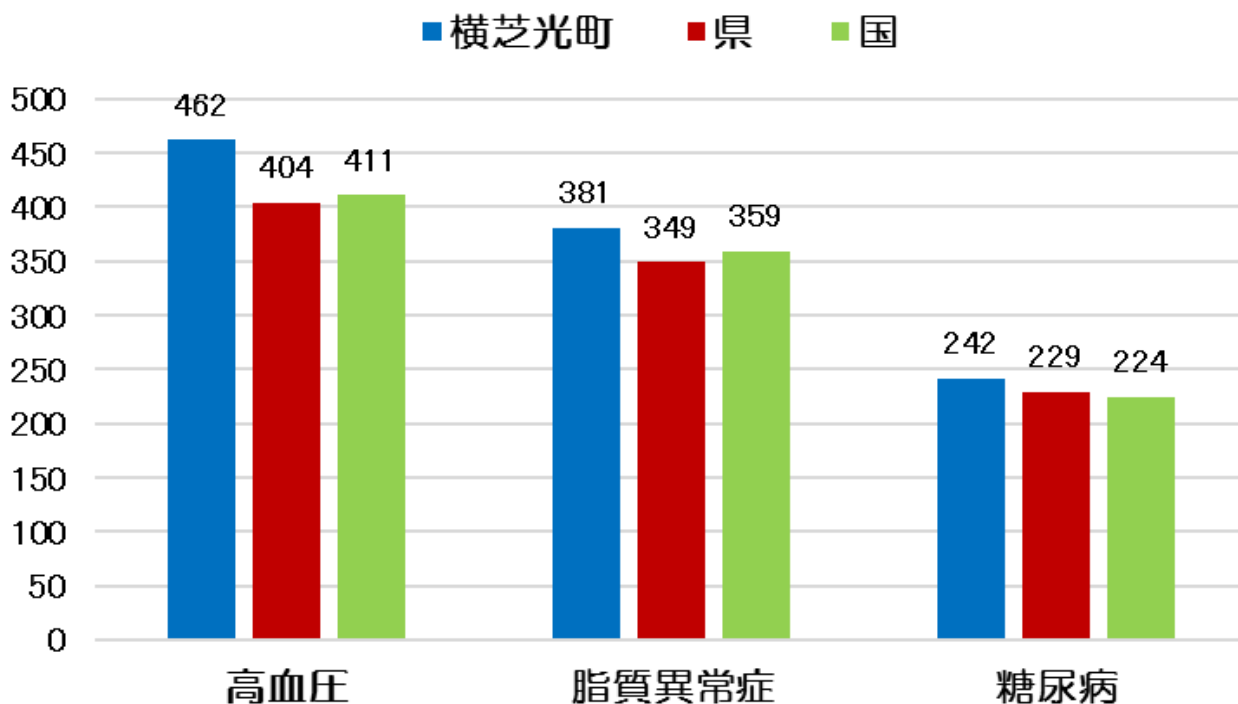
単位：人



資料：KDB医療分析（1）細小分類（平成28年～令和元年度）

図24 1000人当たり生活習慣病基礎疾患患者数の比較（令和元年度）

単位：人



資料：KDB医療分析（1）細小分類（平成28年～令和元年度）

表23 1ヶ月30万円以上レセプト患者割合の変化

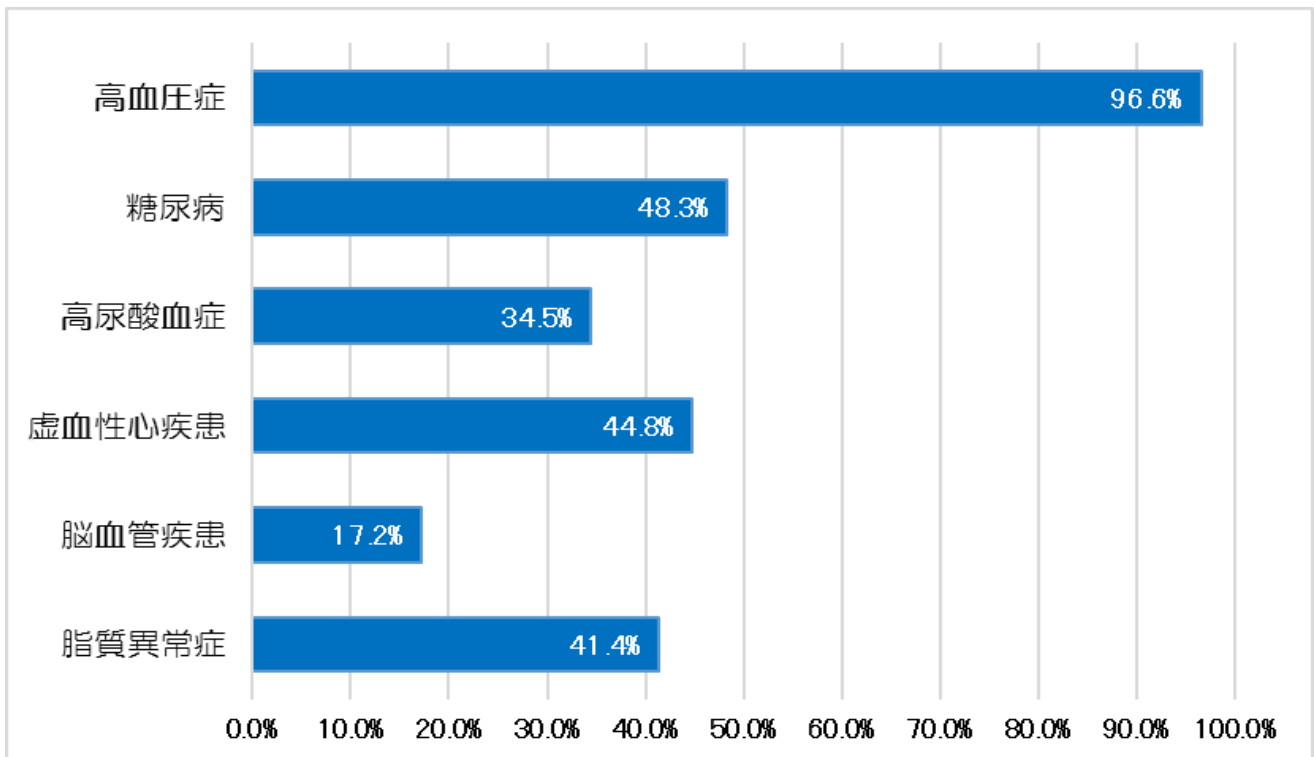
単位：人

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
高血圧症	13.261	13.699	15.049	15.595
糖尿病	10.507	10.291	9.860	9.728
がん	8.093	8.034	9.058	10.149
脂質異常症	6.150	6.725	7.855	7.278
脳梗塞	3.438	3.588	3.232	3.614
人工透析	6.150	6.477	7.194	7.352
狭心症	2.926	3.724	4.647	3.738

資料：KDB医療分析（1）細小分類（平成28年～令和元年度）

図25 人工透析患者の合併症

単位：%



資料：厚生労働省様式 様式3-7（令和元年度）

表24 要介護者認定率等

単位：％・円

	横芝光町		千葉県		国	
	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度
介護認定率（％）	14.3	17.3	15.1	17.6	18.0	19.6
1件当り介護給付費（円）	65,099	72,038	56,982	58,977	58,284	61,336
要介護認定者医療費（円）	7,894	7,722	8,195	8,642	7,980	8,385

資料：KDB地域の全体像の把握（平成28年度・令和元年度）

表25 要介護者認定者の有病率

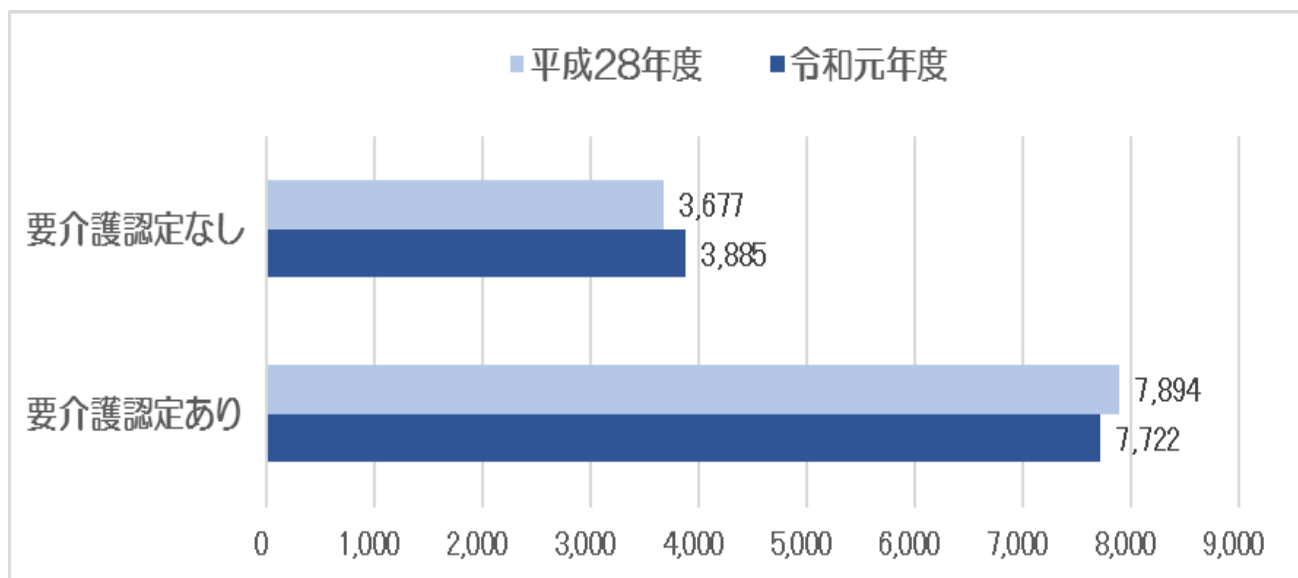
単位：％

	横芝光町		千葉県		国	
	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度
糖尿病	20.7%	21.3%	20.2%	20.3%	22.1%	23.0%
高血圧症	53.1%	52.2%	44.8%	44.4%	50.9%	51.7%
脂質異常症	25.8%	27.1%	24.6%	25.4%	28.4%	30.1%
心臓病	61.3%	59.3%	50.5%	50.1%	58.0%	58.7%
脳血管疾患	24.9%	23.9%	22.1%	20.3%	25.5%	24.0%
筋・骨格	51.1%	49.1%	43.1%	43.4%	50.3%	51.6%
がん	10.2%	10.6%	9.6%	10.3%	10.3%	11.0%
認知症	24.0%	25.1%	17.8%	18.3%	21.9%	23.6%

資料：KDB地域の全体像の把握（平成28年度・令和元年度）

図26 介護を受けている人（要介護認定あり）と受けていない人（介護認定なし）の医療費

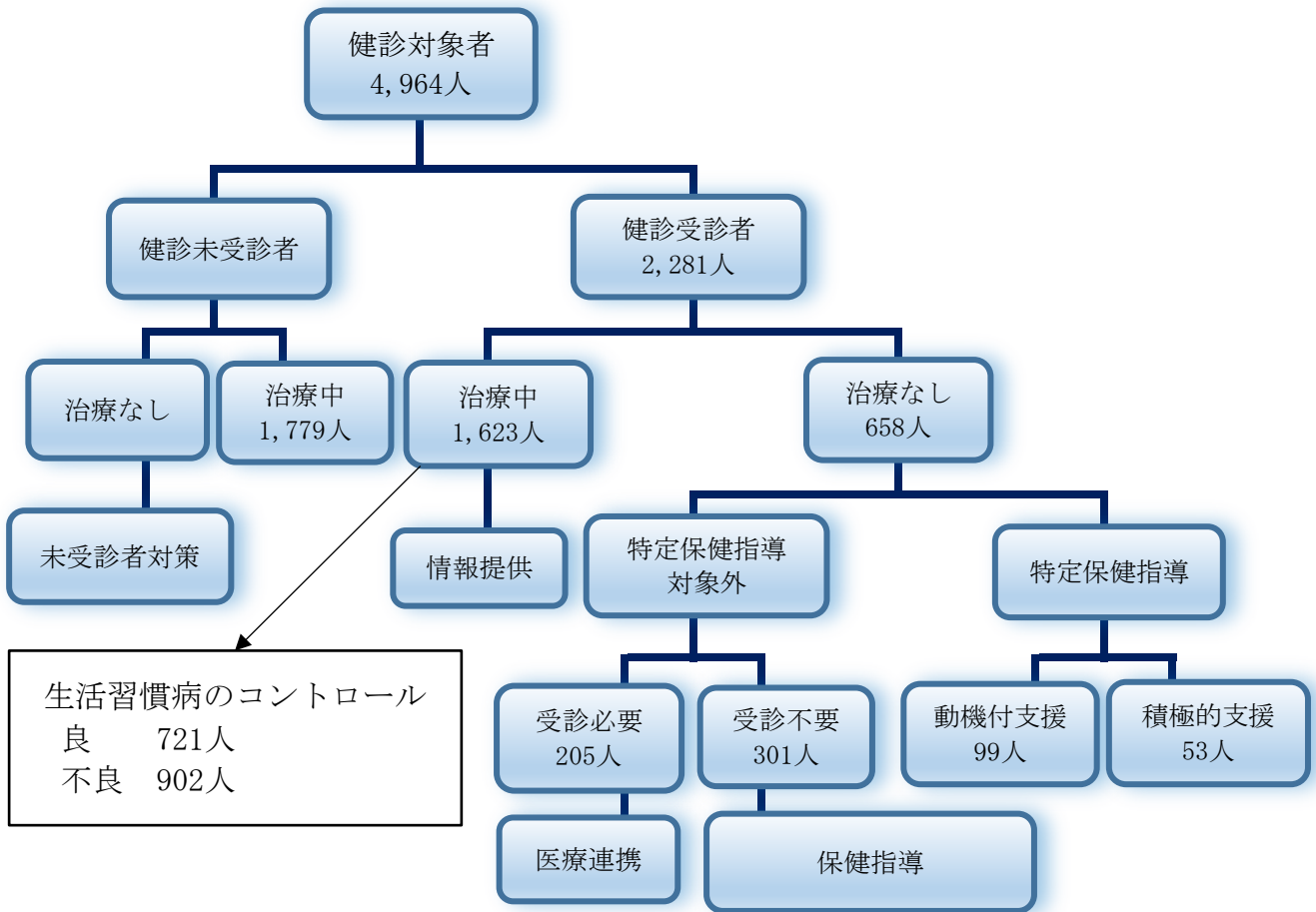
単位：円



資料：KDB地域の全体像の把握（平成28年度・令和元年度）

⑤優先すべき保健指導対象者

図27 糖尿病等生活習慣病予防のための健診・保健指導



資料：厚生労働省様式 様式6-10糖尿病等生活習慣病予防のための健診・保健指導（令和元年度）

表26 糖尿病予備群・患者の合併症の危険度

単位：人

HbA1c値	合併症の危険度	男性				女性				計	
		服薬あり		服薬なし		服薬あり		服薬なし			
		H28	R1	H28	R1	H28	R1	H28	R1	H28	R1
5.6～6.4	糖尿病予備群	189	29	291	437	240	18	326	540	1,046	1,024
6.5～6.9	糖尿病域 (動脈硬化など合併症が進む)	42	28	20	35	25	23	5	23	92	109
7.0～7.3	心筋梗塞など合併症の予防の 為の目標値は7.0未満	22	13	7	5	6	5	3	2	38	25
7.4～8.3	三大合併症（網膜症・腎症・ 神経障害）の危険性	19	24	2	6	12	13	1	3	34	46
8.4～9.3	合併症の危険がさらに大きくなる レベル	6	6	1		2				9	6
9.4以上	網膜症発症10年以内の60%、 腎症発症率4.2倍（7.4以上）	1	2	1				2		4	2
計		279	102	322	483	285	59	337	568	1,223	1,212

資料：厚生労働省様式 様式6-10糖尿病等生活習慣病予防のための健診・保健指導（令和元年度）

(2) 健康課題の中間実績と課題

【健康課題1：糖尿病予防対策】

《目標》

糖尿病患者の割合を増やさない

最終年度：糖尿病患者割合 男性 11.0%/女性 8.0%

《対象》

- ①特定健診結果でHbA1c値5.6%以上の者（前年度及び当該年度）
- ②糖尿病予備群の多い地区

《これまでの主な取組》

- ・平成28年度糖尿病予備群の多い2地区（上堺地区・南条地区）に年3回ずつ健康教育を実施した。しかし参加人数が少なく、若い世代からの糖尿病予防教育に焦点を変え、平成29年度からは上堺小学校・南条小学校の保護者を対象に、平成30年度からは町内の保育園・幼稚園・小学校に健康教育を実施した。
- ・特定健診の会場で、糖尿病予防に関するフードモデルやパンフレットなどを展示し、糖尿病予防について周知した。
- ・特定健診の事後指導では、糖尿病予防講座（健康セミナー）を開催したり、糖や血圧が高い者を対象に尿中推算塩分測定を実施した。
- ・特定健診会場で、前年度HbA1c6.0%以上で未治療の者に保健師、栄養士の個別面接を実施してきた。

《実績》

	評価指標	H29年度	H30年度	現状値 (R元年度)	目標値 (2020年)
アウトプット	ホスピタリティアップ回 数 (※1)	15回	23回	21回	18回
	個別指導割合 (※2)	11.3%	9.9%	1.5%	11.0%
アウトカム	有所見者割合 (※3)	56.6%	43.7%	55.6%	53.5%
プロセス	毎年実施経過について評価する				

※1：各団体・地区健康教育の数

※2：健診時のHbA1c値6.5%以上（前年度結果）の個別指導者数/受診者数

※3：千葉県国保連合会「特定健診・特定保健指導糖実施結果状況表」より
(HbA1c値5.6%以上の総数割合)

《中間見直しで分かった現状》

- HbA1c5.6%以上の全体数は減っているが、逆にHbA1c数値の高い人が多くなっている。
- 表13と表14より、糖尿病患者は増加している。
- 表25より、HbA1c5.6%以上の者の状況を見ると、6.5~6.9%と7.4~8.3%の者の割合が高くなっている。

《課題》

HbA1c値5.6%以上の有所見者割合を減らすことと、加えてHbA1cの予備群の者を糖尿病にさせないことが重要である。

《今後の取り組み》

- 予備群の多い地区だけでなく、他の地区も含め、既存の地区組織などを活用し、より多くの者にポピュレーションアプローチを実施していく。
- 健診会場にてHbA1c6.0%以上の者への個別面接を実施していたが、服薬なしの予備群の者が増えている状況であり、今後はその年の健診結果を確認し、電話や郵送などで個別に情報提供を実施していく。

《評価方法の見直し点》

- 個別指導割合を「個別指導者数/HbA1c6.5~6.9（糖尿病未治療者）の人数」へ変更し、人数が増えているHbA1c6.5~6.9の者を重点に指導していく。
最終目標値 20%とする。

※ 参考値 令和元年度 17.3%（令和元年度は、HbA1c値を限定せず面接を行っているため、参考値として算定）

【健康課題2：循環器系疾患・高血圧予防対策】

《目標》

高血圧の有所見者割合を減少させる

最終年度：収縮期血圧有所見者割合 30.2%・拡張期血圧有所見者割合 15.5%

《対象》

- ①特定健診結果で血圧値 160/100mmHg 以上の者（特定健診時）
- ②事後指導対象者（血圧値 160/100mmHg 以上の者）
- ③情報提供書発行者（血圧値 180/110mmHg 以上の者）

《これまでの主な取組》

- ・特定健診受診者（特定健診会場）で当日測定結果から①の対象者に対し個別指導を実施した。
- ・健診結果で②の対象者に対し、事後指導会を案内し、個別指導を実施した。また、平成 30 年度から事後指導時に血圧の高い方を対象に尿中塩分測定を実施し、減塩指導に役立てた。
- ・健診結果で情報提供書発行者の受診把握をした。（情報提供書：要医療者に対し病院宛ての手紙を送付）
- ・令和元年度からは、血圧の基準値を 160mmHg 以上と変更し、早期に精密検査につなげるようにしたため、情報提供書発行者が増えたが発行者のうちの受診者割合が減っている。

《実績》

	評価指標	H28年度	H29年度	H30年度	現状値 (R元年度)	目標値 (2020年)	
アウトプット	情報提供回数 (※1)	—	15回	26回	19回	18回	
	個別指導割合 (※2)	—	3.2%	2.5%	4.9%	2.9%	
	情報提供書発行者 受診者割合	—	70%	80%	40%	100%	
アウトカム	有所見割合 (※3)	収縮期	33.0%	33.1%	39.0%	37.9%	31.4%
		拡張期	18.3%	18.1%	22.7%	21.8%	16.7%
	集団健診数値 (TKC)	収縮期	—	29.0%	36.5%	35.0%	—
		拡張期	—	16.5%	22.2%	21.4%	—
プロセス	毎年実施経過について評価する						

※1：各団体・地区健康教育の数

※2：健診時の血圧値 160mmHg 以上の個別指導数/受診者数

※3：千葉県国保連合会「特定健診・特定保健指導糖実施結果状況表」より

《中間見直しで分かった現状》

- 図 12 と図 13 より、健診の有所見者割合を見ると、収縮期血圧の有所見者が増加してきている。
- 表 15 と表 16 より、高血圧の患者数は減少しているが、割合は増加傾向にある。
- 図 21 と図 22 より血圧の患者割合では、血圧が増えており、国・県と比較しても多い状況にある。
また、図 25 の透析患者の合併症を見ると、高血圧が 96.6% と非常に多くなっている。

《課題》

高血圧の有所見者割合が増加しているため、減塩指導を行う必要がある。

《今後の取り組み》

- 情報提供書の発行基準は収縮期血圧 160mmHg/拡張期血圧 90mmHg とし、早期に精密検査につなげるため、未受診者の受診勧奨及び状況把握に努める。併せて減塩指導、減量指導を事後指導で健診会場での面接だけでなく、手紙等による個別対応とする。
- 数値の高い方やリスク要因の多い方に尿中塩分測定を実施する。

《評価方法の見直し》

- 対象者の③について、情報提供書発行者を血圧値 160/100mmHg 以上の者へ変更する。
- 評価の個別指導者割合を「個別指導者数/血圧 160/100mmHg 以上の者の人数」へ変更し、健診会場での面接は 180mmHg 以上の高値の者とし、160/100mmHg 以上の者は健診後の事後指導等を行っていく。
- 評価指標の情報提供書発行者受診者割合に状況把握者を含める。
個別指導者割合最終目標値 60% ※参考値 令和元年度 54.2%

【健康課題3：糖尿病性腎症重症化予防対策】

《目標》

特定健康診査受診者の新規人工透析患者をゼロとする
 最終年度：特定健康診査受診者の新規透析移行者数0名

《対象》

糖尿病性腎症重症化予防プログラムに準じた者とする
 （特定健康診査結果で糖尿病治療中かつHbA1c7.0%以上及び尿蛋白±以上の者）

《これまでの主な取組》

- 平成28年度から平成30年度までは、特定健診受診者（特定健診会場）のうち、対象者に対し個別指導を実施。その後、定期的に訪問や電話連絡等による状況把握を実施した。
- 本人の了承を得てかかりつけ医との連携を図るツール（糖尿病連携手帳）を活用した。
- 令和元年度からは、特定保健指導の面接を優先に行い、健診会場での個別面接は実施せず、代わりに電話や訪問等でフォローをした。
- 健診結果で情報提供書発行者の受診把握をした。（情報提供書：要医療者に対し病院宛ての手紙を送付）
- 糖尿病性腎症重症化対象者には、尿中推算塩分測定を実施し、減塩指導にも力を入れた。
- 平成30年度から糖尿病性腎症重症化予防の会議を実施。

《実績》

	評価指標	H29年度	H30年度	現状値 (R元年度)	目標値 (2020年)
アウトプット	個別指導割合 (※1)	2.5%	2.2%	2.6%	2.2%
	情報提供書発行者 受診者割合	90%	81.6%	57.5%	100%
アウトカム	①健診受診者の新 規透析移行者数	0	0	0	0
	②対象者数	7	13	21	6
プロセス	毎年実施経過について評価する				

※1：健診時に糖尿病治療中かつHbA1c値7.0以上（前年度結果）の対象者に対する個別指導数／受診者数

《課題》

- 糖尿病性腎症重症化の対象者が年々増加している。
- 健診受診者の新規透析移行者数は0人となっている。

《今後の取り組み》

- 特定健康診査受診者の新規人工透析患者をゼロとするため、腎機能低下者への保健指導を継続して行う必要がある。尿中推算塩分測定や減塩指導などの保健指導を強化する。
- 町立東陽病院の糖尿病専門医との連携により町の状況を報告しながら、医師の助言を保健事業等に活かしていく。
- 対象者を治療中のコントロール不良者だけでなく、未治療のHbA1c 6.5%以上の腎機能低下者も対象とし、早期に治療につなげる指導も行っていく。

《評価方法の見直し》

- 個別指導割合を「個別指導者数／糖尿病重症化対象者数」へ変更し、対象者に対する指導を重点的に実施していく。
- 対象者には改善アプローチを電話や訪問等で行っていくので、目標値を100%とする。
- アウトカム指標①「健診受診者の新規透析移行者数」を「糖尿病性腎症重症化対象者の新規透析移行者数」に変更する。

保健事業実施計画
(第2期データヘルス計画)
中間評価

発行 千葉県 横芝光町 2021年3月

編集 横芝光町役場 住民課
〒289-1793
千葉県山武郡横芝光町宮川 11902 番地
電話 0479-84-1214
Fax 0479-84-2713